

①柳沢地域づくり懇談会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	総計	総合計画の進捗測定について、地域社会アンケートの結果が含まれるものもあると思いますが、基準値の数字は、アンケートの回答者のうちの割合ですか。自分はアンケートに答えたことが無いのですが、だいたい市民の何割くらいの方が回答しているのですか。	基準値の数字についてはご質問のとおり、回答いただいた中での割合です。地域社会アンケートは、平成17年度から毎年実施しており、現在は市民の中から3,200人を無作為抽出して送付しています。無作為抽出と言いつても、実際の人口構成に合わせて地域、年齢にばらつきが出るように設定しています。	企画政策課	市回答のとおり	
2	総計	リカレント教育推進事業について、「カレント」は分かるのですが、「リカレント」とはどういう意味でしょうか。横文字だと分かりづらいと思いました。滝沢市で言えば睦大学のことでしょうか。	リカレントは「学び直し」とよく訳されます。就職や家庭に入られたりといったことで、一旦「学び」から離れた人たちが改めて自分が興味のあることを「学ぶ」ことなどをサポートしていきたいという事業です。本市では睦大学もそうですが、今年度は盛岡大学などと連携し、学ぶ場を設けているところです。	生涯学習スポーツ課	市回答のとおり	
3	総計	滝沢地域づくり活動推進補助事業について、例えばこの施設の机や施設自体が老朽化していて、地域活動に支障をきたしている状態ですが、そういった整備に活用することはできますか。	地域づくり活動の環境整備や基盤整備につながるかと考えますが、本日補助要綱の資料をお持ちしていますので、提供させていただきます。	地域づくり推進課	市回答のとおり	
4	地域懇談	市道ではない場所の除雪対策、通学路の安全対策については、これからの季節に重大な問題になるところです。スピードが出やすい道路が通学路になっていることもあり、見ていて危険だと感じます。	除雪につきましては、滝沢市道の管理がメインです。市道の中でも主要路線等を設定し出動していますが、除雪作業に1事業者あたり6～8時間くらいかかる場所もあります。私道につきましては個人の財産ですので、市で除雪はしません。法定外道路（赤線）につきましては、住民の方からご連絡をいただき、市で除雪を実施しています。どの道路が法定外道路であるかは、道路課にお越しいただければお伝えできます。また、私道につきましては、補助制度があります。除雪区間が20m以上、幅が1.8m以上の道路で、その道路沿いに3軒以上の住宅があることが条件です。その道路の除雪に対し、100mまでは3万円、100～200mは5万円、200m以上は10万円を1年に1回補助します。業者等に除雪を依頼する場合には、その契約額の1/3か、先ほど申し上げました額を上限として補助を実施していますが、市の予算にも限りがあります。申込件数が増えてくると、上限に満たない補助額となる場合もある点をご理解ください。また、市では除雪機の貸出も実施しています。柳沢地区にも現在1台貸し出していますので、そちらもご活用ください。	道路課	市回答のとおり	
5	地域懇談	前の質問に関連して質問します。この施設付近の道路で、市で除雪や管理をしている農道があるかと思えます。これは市道ではないのですか。市に移管するという話を聞いたことがあると思お教えてください。	場所がわからず明確に答えられませんが、現在市で管理している道路は500kmを超えています。維持にもかなりの経費がかかっており、市に道路を帰属する場合であっても、市の規則の中で、規格に合った道路に直し10年後に受けるということも定めているため、簡単に受けるということもできない状態です。	道路課	市道認定に向けて私道等整備補助金を活用し整備することができます。この場合は市道認定の規格で整備することで、補助金交付の翌年度から起算して10年後に認定することができます。	
6	地域懇談	この場で答えていただかなくても良いですが、自分がこの地域に住み始めた頃は私道の除雪も市で実施してくれていたと思います。いつから私道の除雪がされなくなったのか、経緯等も含めて来年の地域懇談会で教えてください。	業者さんの厚意によって実施されていた場所もあると聞いたこともあります。私道の除雪は市で行わないという基本は変わらず運用していると思いますが、その経緯も含めて確認し改めて回答します。	道路課	市では私道の除雪を行っておりません。次の懇談会までに難しいとは思いますが、経緯について回答いたします。	
7	地域懇談	私道の除雪については、一番期待しているところです。変わらないと言われてしまうと、今日の時間が無駄になると思います。前向きな意見が聞きたいです。様々な状況に置かれている人がいます。全てを市にやってくれというのは無理があると思うので、じゃあ地域では何ができるのか、市では何を手伝ってくれるのかといった案を出しながら相談できればと思います。	例えば上の山団地では協働除雪の取組を行っています。地域が主体となった除雪の取組について、市から重機等を貸し出したり、話し合いに参加しながら一緒に取り組んでいますので、地域の困り事については、道路課にお話をいただければと思います。	道路課	私道除雪に係る補助金の制度、またハンドガイド除雪機を希望する自治体に貸与しておりますのでご活用いただければと思います。	

①柳沢地域づくり懇談会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
8	地域懇談	タクシーシステムについて、以前、体験会がありました、その後どうするのかというところをお聞きしたいです。	タクシーシステムの件についてですが、一昨年実証実験を行い、昨年度はみなさんと意見交換をさせていただきました。今年度については、使いたくても使えない方に直接お話を聞きながら実情を把握し、柳沢地域にはどういった交通政策が効果的であるかを検討していきたいと考えています。費用対効果等も鑑みながら、様々な手法について話し合いをさせていただきたいです。年度末に向けて改めて職員と意見交換の機会を設ける予定ですので、よろしくお願いします。	都市政策課 高齢者福祉課	市回答のとおり	
9	地域懇談	柳沢の通学路は、通学路でありながらもスピードを上げやすい道路で、危険が伴っています。対策についてお聞きしたいです。	道路の速度規制等につきましては警察の管理になっています。年に一度学校等から危険箇所等の報告を取りまとめ、道路管理者や警察と合同点検を実施しています。今年度は柳沢小中学校前の横断歩道の塗り直しを実施してもらいました。昨年は岩手山神社付近の標識の改善も実施してもらいました。交通規制については、道路の形状や基準等から、希望を全て実現することは難しいものですが、地域からの声は全て各担当組織等へお伝えしているところです。	防災防犯課	市回答のとおり	
10	地域懇談	20代30代の担い手不足について、実際、本日ここにも参加されていません。回覧を回しただけでは足を運んでもらえない、子育て世代で仕事も忙しいということもあると思います。そして、この世代はSNS世代であり、リアルに会って何かをするという世代ではないと思います。テーマがあれば呼び掛けて、地域関係なく集まり、興味があればやって来るけれども、退会もいつでもできるような、縛りを嫌がるという性質があると思います。婦人会や自治会も、抜きたいという声が出ています。どこの地域でも課題かとは思いますが、活動が活発ではなくなってきています。	地域の担い手対策については、他の地域でも同様の声が上がっている問題です。共働きや個人の趣味嗜好等、多様性が尊重されるようになってきたことも背景にあるかと思います。他の地域での取組を一部紹介しますと、若い親世代を巻き込むために、まずは地域の子どもの地域活動に参加させるため、子ども会育成会と協力しながら、様々な取組を実施している地域があります。子どもがきっかけとなって、親世代も地域活動に参加するようになる取組です。地域の中学生と意見交換会を実施しているところもあります。夏祭りの機会に子どもたちと敬老会の交流の機会を設けたり、実行委員が若い人にやりたいことをチャレンジさせたりといった取組も行っている地域があるようです。ぜひ参考にいただければと思います。	地域づくり推進課	市回答のとおり	
11	地域懇談	「ほにほに柳沢」のSNS等では、地域の情報や学校の情報も発信していて、少しずつ横のつながりが広がってきたと思います。情報共有が大事だと思っています。市の職員さんも公式LINEやInstagramをフォロー、登録してほしいと思います。市の職員から見本を見せてほしいと思います。	市のSNS等を用いた情報発信については、まずは認知してもらうことが大事だと思いますので、これからも周知活動を頑張っていきたいと思ひますし、御意見いただきましたように、職員自ら使うことも大事なことで捉えていきたいと思ひます。市の広報紙に公式SNS等のQRコードを掲載していますので、ぜひそちらから登録をしていただければと思います。	たきざわ魅力発信室	市回答のとおり	
12	地域懇談	福祉バスの運行予定について見たくて滝沢NAVIを見たが、ルートや運行時間がとても見にくく困っています。1つのページで全ての情報がわかるように表示してほしいです。	滝沢NAVIも常々改良を加えているところです。ご意見は参考にさせていただきますが、福祉バスの路線図や時刻表を1ページにまとめるというのは、掲示の大きさ等を考えるとなかなか難しいかなと思ひますので、紙で配布しているもの等もうまく活用いただければと思います。	たきざわ魅力発信室	滝沢NAVIを利用いただきありがとうございます。即時に改良がかなわない部分につきましては、滝沢市のホームページにて「福祉バス」と検索いただくと、福祉バス運行表などのファイルをすぐに関連することができますのでこちらもご利用ください。	
13	地域懇談	ピザ窯の話が出ましたが、地域にピザ窯が作れる人がいて、この施設に作ってほしいという打診をしたところ、了承していただきました。早速地域づくり推進課と防災防犯課に相談したところ、実現に向けて動けそうだといいことで、ご協力いただきありがとうございます。防災についてですが、地震等もありますが、岩手山の噴火警戒レベルが上がりました。各家庭での対策について高齢者の集まりで話したりしますが、岩手大学や岩手県立大学の教授等が出張の防災体験を実施しているということを新聞で目にしました。柳沢地域でも、火山に対する防災知識について、高齢者向けに学習会等を行いたいのですが、市でも後援いただければと思います。市の出前講座も活用していきたいと思ひます。	出前講座は地域からの要望も聞きながら実施することもできます。本日県の防災対策会議があり、その中では今のところ大きな変動はないというのが最新情報でした。噴火警戒レベルが3に上がった場合でも、市民生活への影響はほとんどないものという情報を聞いてきました。火山に限らず、豪雨や地震など災害は様々なありますので、出前講座等で対策についてお知らせできればと思います。	防災防犯課	市回答のとおり	

①柳沢地域づくり懇談会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
14	地域懇談	この地域は若い世代がどんどん減ってきていると思っています。若い世代の夫婦に「庭付きの家を探している」と言われ、ついでもあったので不動産に行って相談したところ何件か紹介されたが、担当者に「雫石町はいろいろな援助があるようだが、滝沢市は無いみたいです」と言われました。滝沢市は外から人を呼ぶという点で危機感が無いと思っています。柳沢地域のような山間地は特にそうです。なので、この地域に向けた政策等は全体と別に考えてほしいと思います。	我々も定住政策は行っています。空き家バンクへの登録数も県内で一番ですので、引き続きしっかりと取り組んでいきたいと思っています。 柳沢保育園に通う児童は、地域外から通っている人も多いです。ここの景色が好きだという声をよく聞きます。選ばれる保育園であるということは誇りに思っていたければ嬉しいです。また、そういった声から定住等へつながるきっかけとなることもあります。将来につながる政策となるよう考えていきたいと思っています。 岩手県での出生数はどんどん減っていますが、市単独でなく、広域で連携しながら、岩手県としての魅力を高めていくことが移住、定住につながるのではと考えています。様々な連携を持ちながらしっかりと取り組んでいきたいと思っていますので、ご協力をお願いします。	企業振興課	市回答のとおり	
15	地域懇談		SNSの利用やほにほに柳沢の活動についても、私も積極的に参加していきたいと思っています。また、除雪についてのお話もよく分かりました。いろいろな思いがあるので、将来に向けて、みなさんと一緒に作り上げていきたいと思っています。	企画政策課	市回答のとおり	

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	総計	自治基本条例を総合計画にどういうふう反映されているのか伺います。	滝沢市において、市民の皆様が思い描く地域像として「思いやりのある社会そしてみんなが幸せに暮らせる地域を創造する」ことが書かれております。思いやりのある社会に向けた取組を進めていくべきという考えから、今回「やさしさ」というワードが出てきているので、メインテーマにまさに自治基本条例の考え方が入っております。 そして自治基本条例の中に、市民主体の地域づくり活動を進めることと行政がそのサポートをすることが入っていて、計画の体系として地域別計画があり、そして行政が支える部分の計画があり、自治基本条例の理念に沿って計画展開していく体系になっています。	企画政策課	市回答のとおり	
2	地域懇談	今、世の中はオーガニック（有機農法）に動いています。秋田県のあきたこまちRは遺伝子組み換えをしていますが、滝沢市の農政や地方創生の予算の使い方について伺います。	これまでも特別栽培米や殺虫剤、除草剤の使用回数など、制限してやってきたところ、やはりどうしても収入が減り辞めてしまう農家が多かったことが現実ですが、有機農法に取り組む方がいれば、補助金のようなものを用意するなど我々も一緒になって考えていきたいと思っています。 また、過去に岩手県でチヨニシキという品種を作ったことがありますが、現在は遺伝子組み換えのようなものは作られていないと思います。 まずは多くの方が安心して食べられるように、今後も農協の皆さんと協議していきたいと思っています。 地方創生の交付金について、滝沢市も活用させていただいております。政府が今後、その地方創生の交付金を増やすという話も出ているので、国の動きを見ながら滝沢市も活用できるものがあれば取り組んでいきたいと思っています。	農林課	市回答のとおり	
3	地域懇談	中心拠点の進捗状況について伺います。	今現在、A・B・Cの3つのブロックに分けて民間の方に開発していただいでいて、造成は75%完了している状況であり、順次核となる施設が決まり次第建物の整備に入っていく予定であります。	都市政策課	市回答のとおり	
4	地域懇談	上の山団地から中心市街地までの動線は整備される予定はあるのか伺います。	動線については、上の山団地から直接中心市街地へという計画は今のところありません。	都市政策課	市回答のとおり	
5	地域懇談	市街地開発が行われる中で、埋蔵文化財に関する調査がなされなかったと思いますが、その理由は何か伺います。	埋蔵文化財については、民間事業者の許可を受けているので開発する時にしっかり確認しております。 埋蔵文化財包蔵地というのが決められていて、包蔵地でない場合は調査をしなくて良いという内容になっております。もし文化財が出た場合には速やかに報告してくださいという指導を受けながらやっています。今現在、文化財が出てきたなどの報告はありません。	都市政策課	市回答のとおり	
6	地域懇談	中心拠点について、前回の説明の際、スーパーやホームセンター、温泉を作ると聞いていたので住民とすれば楽しみにしている部分があります。まだ確定していないのであれば、地域の皆さんにはまだ決まっていないなどの話をすると良いと思います。	開発事業者が基本計画を立てて、その中でスーパーやホームセンター、温泉施設を誘致するというような基本的な計画を立てて開発許可をいただいております。計画なので、状況によってはもしかしたら採算が合わないなどということになり温浴施設などの誘致を諦める形も考えられるかと思っております。ただ、市といたしましては誘致できるように色々な面で相談に乗って推進してまいりたいと考えております。	都市政策課	中心拠点商業地区の開発の進捗状況につきましては、市広報誌やホームページ等でできる限り情報提供してまいります。	
7	地域懇談	中心拠点に、住宅部分はできないのか伺います。	こちらについては、一般の住宅は建てないこととしております。	都市政策課	市回答のとおり	
8	地域懇談	中心拠点について、民間が開発すると言いつつも、行政がきちんと関与しながら計画を進めてスタートしたわけなので、行政もそのことをきちんと押さえて住民に説明する必要があると思います。今の計画が、住民が期待するものに結び付けていかないと、作っただけで終わるのではないかと思うので、民間に任せてただけだと大変なことになるかと思っております。これらの問いに対して、後ほど回答いただければと思います。	中心拠点の開発については、しっかりと情報提供していきたいと思っています。今決まりつつあるものもありますが、どこでどう変わるか分からないので、決まりましたら一つ一つしっかりと皆様にお伝えいたします。	都市政策課	市回答のとおり	

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
9	地域懇談	ゴミ焼却場の進捗状況についてお伺いします。	新しいゴミ焼却施設については、8市町で色々な協議を経て、整備予定地としては、盛岡インターチェンジ付近となっております。今後、地権者との交渉などが確定次第、エリアとして確定してくる状況であります。 今現在、施設予定地の土地の調査を行っており、新しい焼却施設については、学識経験者や住民が代表する検討委員会を設置し、その中で専門的な知識等で検討していただき、施設整備の基本となる計画を策定中であります。 併せて、整備予定地の環境影響評価というものも実施しており、その後、事業選定や施設の建設等を進め、令和14年度には施設の稼働をする計画で、色々協議を進めています。	滝沢・雫石環境組合 環境課	市回答のとおり	
10	地域懇談	公共交通について、広域で審議しており、住民の意見も反映しているとのことでしたが、このことについて説明をお願いします。	今、バス路線を含む公共交通に関する計画を盛岡市、矢巾町、滝沢市で策定しています。 その中で、住民代表の方を招いたワーキングというものをやっていますが、全自治会ではなく、盛岡市と関連のある地区に、バス路線の繋がりの部分でご意見をいただいたり、市民の方に無作為にアンケート調査をとり、公共交通の現状を把握しながら計画を作っています。	都市政策課	市回答のとおり	
11	地域懇談	自分が持っている土地から、石や業者が残したコンクリートブロックなどが出てきて処理に困っており、清掃センターはそれらを受け付けられないのですが、新しいゴミ焼却施設は受け付けてくれるのかお伺いします。	新しいゴミ焼却施設については、盛岡広域環境組合を設立した時点で、今の盛岡市の燃えるゴミの範囲内であるということを取り決められているので、清掃センターで受け入れが難しいものについては同じように受け入れができないと思います。	滝沢・雫石環境組合 環境課	市回答のとおり ※ 石・土等は法律上の廃棄物に該当しないため、残土類の場合は、残土受入れを行っている民間事業者にご相談ください。	
12	地域懇談	ゴミ焼却場をあまり大型化しないという話がありましたが、この話は進んでいるのかお伺いします。	8市町で協議しており、今具体的に精査している段階ではありますが、試算した時は、全体的にはゴミ焼却所が6施設あり、700トン以上の処理する能力を持っていて、今回の集約では2割くらいは集約できると想定して話が進んでおりました。現在さらに、規模をできる限り小さくしようという話は続いているので、なるべく集約化し、専門家の意見を聞きながら適正な規模も踏まえ、進めていきたいと思っています。	環境課 滝沢・雫石環境組合	市回答のとおり	
13	地域懇談	滝沢市にお住まいでバスを利用している方が、ここにもバスが通ってほしいなどの希望があった時、受け付ける窓口はあるのかお伺いします。	随時、所管課である都市政策課で、そういった声があればお聞きしたいと思います。	都市政策課	市回答のとおり	
14	地域懇談	市民主体や協働という言葉を行政文書などで結構見るが、行政との取組の中で住民当事者の高齢化により従来通りにいかなくなってきました。協働除雪については、ある一定のレベルで実現したいという合意のもと一緒に取り組んできているが、高齢化により目標の除雪の状態を維持するのが厳しくなっているので、このような状況の場合、協働の取組はどのように調整していくのかお伺いします。	協働除雪について、上の山自治会の皆様には除雪に取り組んでいただきありがとうございます。 高齢化によって能力が下がってきているのであれば、色々な考え方がありますが、目標を少し下げよう活動にするのか、あるいは協働除雪ではありませんが、河川の草刈りは県から委託費をいただいて、自治会の皆様に草刈りをしていただいている地域もあります。 高齢により継続できないのであれば、辞めることも最終的には一つの手法かと思えます。 ただ、皆様がもう少しこんなことをやりたい、これはどうかという意見をお伺いし、市としてもそれを実現できるように取り組んでいきたいと思っています。	道路課	除雪オペレーターの資格取得の補助制度を今年度創設しご活用いただきました。引き続き担い手の確保にご活用いただければと思います。	

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
15	地域懇談	地域別計画について、発言しているのは誰なのか分からないような文章になっていて、本当に市民主体で作り上げられているのか疑問があります。 市民主体というのは、主体的な市民を作る行動をしなければいけないと思うし、そのために行政としてどういう取組をするのが大事であり、そういった取組を一つ一つ積み重ねていかないとはいけません。 何かを協働する際、住民とどうコミュニケーションをとって行くのかということと、市民主体という時の市民の声をどう反映するのかお伺いします。	地域別計画を作成する際、ワークショップを何回か開き、市民の皆様と議論しながら課題等を抽出し、その中でどういう行動にしていくか、市民の皆様の視点で計画を取りまとめたものになります。 その中で、市民の皆様が取り組むことはこういう表現にしよう、市民だけではできず市にお願いしなければいけないことは市に要望していくという表現にしようなど、表現には気を付けましたが、どうしてもそういう形になっていない部分もあるかもしれません。 自治会の場合、自治会長が集まった時にワークショップなど話し合いの場を作っていて、どの地域も若者がいないという声を聞きますが、現在、PTAや子ども会育成会と協力して、子どもを行事に呼び込んで親御さんにも興味を持ってもらうという取り組みをしています。 また、夏祭りや敬老会など、色々な行事を一つにまとめて開催して負担を軽減することで、次世代に引き継ぐ際に楽にできるなど、色々話し合っているケースもあります。 地道な活動にはなりますが、市といたしましては話し合いの場を提供していくような形で努めています。 総合計画の中の基本計画は行政の計画であり、地域別計画は地域の皆様の計画という位置づけではありますが、なかなかその部分が浸透していないのはあると思います。その中で、地域の皆様の活動に対して補助金を交付したり地域づくりの支援職員ということで総括主査級、中堅、若手職員の3名を各地域に配置しているので、職員と一緒に取り組みながら、地域の皆様が地域別計画を今後進めていき、それが市民主体の地域づくりに繋がっていくと思います。 地域づくり推進課という窓口があるので、ご相談いただきながら活動いただき、その活動の積み上げがまさに市民主体になると思います。先ほどお話のあった除雪もまさに市民主体だと思うので、市も支援しながら一緒に活動していきたいと思っています。	地域づくり推進課	市回答のとおり	
16	地域懇談	公園の遊具が3～4年前からビニールテープが貼ってあり子どもたちが使えない状況であるので撤去してほしいが予算がないからとそのままの状態です。 このような懇談会の際に、ただ予算がないから厳しいというのではなく、何かもっとアイデアや知恵を出し合える懇談会にできたらと思います。	当時、市（村）の財政が厳しかった時、職員に対しても予算をかなり絞るように話していて、持続的に行政がサービスするためには必要な手立てでしたが、この考えが染みついてしまっていることが反省点であるので、予算をどう使いながらどういった取組ができるのかということや、予算がなくてもアイデアを出し合い、みんなで何ができるかなど、ざっくばらんに懇談できればと思います。 こどもまんなかという視点で、順番に考え、いつ頃公園の遊具をどうするかについては決まり次第お答えしたいと思います。 予算について、この間、雪対策関係の要望会に行ってきましたが、除雪体制の強化については、国交省と協議しながら、皆様の暮らしの行き届かないところにも予算を配分できればと考えています。滝沢市の現状をちゃんと説明し、予算をしっかりと確保する気持ちで頑張っているため、市の担当職員と一緒に、皆様の暮らしに少しでも役立つ環境を作っていきたいと思っています。	河川公園課	令和7年度に、上山団地公園の使用禁止となった複合遊具を撤去し、それに代わる施設を設置する予定で、自治会と調整しています。	
17	総計	重点事業一覧表にある「はたらく滝沢」のICT産業集積拠点整備事業について、予算がゼロなのはなぜなのかお伺いします。	こちらの事業については着実に進めています。今予算がかかるようなものがないため、ゼロと記載しております。現在、用地関係などについて関係者と協議を進めているので、今後例えば基本設計などに入ると予算額が載ってきますが、今は重点事業としてこれを進めているという意味で載せているので、予算的にはまだ発生していない状況です。 こちらの事業とは別に企業誘致を進めるという事業があり、その事業については予算はついていません。 滝沢市の将来を考えると県立大学の周辺にICT企業を集積する地域を作るとは非常に重要であるため、ICT産業集積拠点整備事業について特出しさせていたしております。 県立大学を卒業した大学生が東京で起業したりICT関係の会社に勤めており、「岩手に帰りたい」「岩手で仕事をしたい」という声が多いことがきっかけで、この事業をさらに進めようと思っています。 若者が滝沢市に就職することを増やしていかないと若者の地元定着は図られないと思いますし、県立大学と盛岡大学の2つの大学があることは滝沢市の強みだと思うので、この強みを今後どう繋いでいくか、しっかりと考えていきたいと思っています。	企業振興課	市回答のとおり	

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	総計	令和6年度重点事業は各視点ごとに3つとのことだが、「はたらく滝沢」のICT産業集積拠点整備事業は予算がついていないが、これは今年度は何もしないということなのか、それとも予算がかからないことをするという事なのか伺います。	この事業は県立大学の近くのイノベーションセンターやイノベーションパークが需要過多で入居希望者にお断りしている状況であるため、その拡張を目指している事業となります。その中で今年度は様々な都市計画法上の事務手続きを進める年度となっていることから、事業費はかからないということです。来年度以降に詳細設計などを行う段階に入ってくると事業費が必要になってくることとなります。	企業振興課	市回答のとおり	
2	総計	県立大学からイノベーションセンターに入っている企業にインターンシップに行っているようで、いい取組だと思うが、できればICT関係だけではなく滝沢市の他の産業の魅力ある企業にもインターンシップに行けるような環境を作っていただければと思うがこのことについて伺います。また大学生だけでなく小中高生も滝沢市の企業を知る機会があればいいと思いますがこのことについても伺います。	岩手県立大学の学長が企業学群構想というものを打ち出していてイノベーションセンターでのインターンシップはその一環であり、単位を取得できるものとなっております。滝沢市でもインターンシップを受け入れており、その中で商工会から紹介いただいた企業での就業体験の機会というものも受けております。このように様々な機会を捉えながら市内の学生と市内企業との繋がりを作れる体制作りに取り組んでいきたいと思っております。	企業振興課	市回答のとおり	
3	総計	本日の資料である総合計画概要版パンフレットの5ページ目に記載されている目標は既に決まっている目標なのか伺います。またその場合、この目標設定は低すぎるのではないかと思いますのでその点についても伺います。	総合計画概要版パンフレット5ページ目に記載されている「たきざわやさしさ指標」とその目標値については既に決まっている目標となります。また、この指標の目標設定が低すぎるのではないかとこの点についてですが、こちらの指標を決定するにあたり、毎年行っている市民アンケート結果についてどの指標がどのように変われば結果どうなるかということとAIシミュレーションした結果、小さな変化が積み上げれば結果的に大きな変化につながるという知見が得られたことを踏まえ、統計学的に確かに上昇していると判断できる数値というものを設定しているところでございます。	企画政策課	市回答のとおり	
4	総計	この「たきざわやさしさ指標」というのはアンケートを基にしたということだが、何のアンケートを基にしているのか、またこの数値を出すのであれば男女別とか年代別とかで出すようにしないとパッとみて分かりやすいようにならないのではないかと思いますのでこの点について伺います。	基にしているアンケートはたきざわ幸福実感アンケートという毎年実施しているアンケートとなります。このアンケート結果については男女別、地域別などでクロス集計して分析しておりますし、その結果についてはホームページや広報で概要を周知させていただいております。詳細を知りたい場合は担当課である企画政策課までお問合せいただければと思います。	企画政策課	市回答のとおり	
5	地域懇談	令和8年度オープンに向けて民間開発による商業施設整備が進んでいると思うが、商業施設の整備の状況と各種店舗の出店見込みが現状どうなっているか伺います。	現時点での造成は75パーセントほど完了しており、残り25パーセントだと報告を受けています。開発エリアの南の方についても盛土をして、今地盤沈下させている状況です。商業エリアについてはAブロック、Bブロック、Cブロックという風に分かれております。その中でAブロックのキーテナントは契約したという情報を頂いておりますが、民間事業者の販売戦略上それらについての公表はまだできないとのことです。いずれ公表が可能な段階になりましたら民間事業者の方から皆さんに説明するよう促していきたいと思っております。	都市政策課	市回答のとおり	
6	地域懇談	滝沢ニュータウンの十字路に接続される予定の南北に走る市道向井新田線と新しく開発業者により造成されているビッグループ滝沢の南から滝沢ニュータウンに東西に走る道路の完成の時期や供用開始の時期を伺います。	向新田線については、現状令和7年度完成予定としておりますが補助金の付き方によっては令和8年度にずれ込む可能性もあります。また、早期に完成させた場合にダンプなどの大型車が走行し、道路を壊される可能性もあることから、そのあたりも勘案しながら事業を進めていきます。民間開発の道路についても、だいが形が出来てきましたので令和7年度末までに完成するのではないかと考えています。	道路課	市回答のとおり	
7	地域懇談	マンションロフティー滝沢の交差点のところには新たに信号機が設置される予定だと1年ほど前の中心拠点の開発業者による説明会の時に聞いています。しかし、新規に造成される東西南北に走る道路が交差する交差点にはその時点では信号機の設置予定はないとも聞いています。ここは通学路となると想定されることから自治会として信号機の設置を希望するが現時点でも設置の予定がないのか伺います。	ご存じの通りロフティーの交差点には信号を設置する方向で警察、公安と協議を行っているところです。東西南北に走る道路が交差する部分についても、市として設置するようお願いしておりますが、県警の方からまずは通過交通量を把握してからとの回答を頂いております。いずれ市としては交通安全の確保のため、交差点への信号設置については要望を続けたいと思っております。	都市政策課 防災防犯課	市回答のとおり	

③鵜飼地域づくり懇談会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
8	地域懇談	現在実施中の中心拠点まちづくりに関するアンケートによると、開発中の商業地域の南の方の現在田んぼのエリアも含めてまちづくりを検討しているということであるということだが、こういった方向性でまちづくりを考えているか現時点での考えを伺います。	当該アンケートについては11月29日を回答期限として広報に掲載させていただいています。 中心拠点は上山団地から滝沢ニュータウンまで含めた範囲と位置付けています。 そして今開発しているのはその中心拠点の中の商業地区ということになります。 商業地区の南側については最終的に民間開発になるのか、市が直接開発することになるのか分かりませんが、皆様のご意見を伺いながら今後検討してまいりたいと考えています。	都市政策課	市回答のとおり	
9	地域懇談	現在開発している商業地区の南側については、民間開発あるいは市が直接開発する可能性もあるとのことだが、そこは商業エリアとなるのか住居エリアとなるのか伺います。	商業地区の南側については皆様のご意見を伺いながら、住居エリアではなく商業エリア等や様々な方がコミュニケーションや共有を行えるような施設を検討できたらと考えています。 ただ向井新田線からニュータウン側につきましては、市街化調整区域ということもあるのでその辺も踏まえながら進めていきたいと考えています。	都市政策課	市回答のとおり	
10	地域懇談	この中心拠点が完成した場合は交通網はどうなるのか伺いたい。すぐにはできないと思うが中心拠点に交通のターミナルのようなものを作ってくれれば、北部の人たちも中心拠点にアクセスしやすくなるのではないかと思います。	公共交通のお話しかと思いますが、今、バス路線を含む公共交通に関する計画を盛岡市、矢巾町、滝沢市で策定しております。 その中でビッグループを中心に考えたときに、どのような交通網がいいのか今検討しているところです。 ただ、バス事業者も赤字や運転手不足の問題に直面しておりますので、誰も乗らないバスを走らせるということになるとよろしくないのでは、その点も踏まえどのような方法がいいか検討を進めてまいります。	都市政策課	市回答のとおり	
11	地域懇談	市役所前の幹線道路は北の分レの方から南の篠木までの間に学校等の施設が8つある。しかし、この幹線道路を県外ナンバーの大型車が我が物顔でたくさん走っている。これでは「こどもまんなか」とは言えないのではないかと。そのような状況なのでこの道路の整備をどうしていくつもりなのか伺います。	市役所前の道路については盛岡環状線といい県が管理している道路になります。 なので市もこの盛岡環状線については交通渋滞を何とかしてほしいと毎年県に要望しております。 そして現状商工会の辺りから大沢の辺りまでは拡幅する計画が立てられていますので、引き続き大沢から篠木小学校の入り口の辺りまで拡幅してほしいと要望しているところでございます。 また、ふるさと交流館の所の交差点についても渋滞が発生しているため、そこも含め何とかしてほしい旨を毎年県に要望しております。 どこをどのように直せばこのような問題が解消されるのか国土交通省も交え、話し合いをしているところです。  お話しがあった路線については3800人程度の児童生徒が通学に使用していると聞いています。それを踏まえ、先ほど部長からお話しがあったとおり、国・県・市の三者でこの路線をどう改修したらいいかということをお話しています。 また、今工事中の盛岡南バイパスが完成するとさらに環状線に流入する車両が増えることも危惧され、より危険度が増すことが想定されます。その対応として高速と並行して分レまでつながるバイパスを作るといった話もありますが、完成まで時間がかかります。それよりも八幡平市から紫波町までの間だけでも大型車高速道路に流すために、無料で高速道路を走行させることができないか国や県に相談させていただいているところです。	道路課	市回答のとおり	
12	地域懇談	1点目は頂いた資料の令和6年度重点事業一覧表を見ると「こどもまんなか滝沢」の部分の事業に結構予算配分されているようで安心したところであるが、令和7年度以降も同じように予算配分が行われるのか伺います。 2点目は小学生に配付されているタブレットの普及率とその利用方法について伺います。	予算の関係でございますが、ここで重点として位置付けられている事業以外にも「こどもまんなか」として行っている事業がたくさんございます。事業の入れ替えはあるかもしれませんが、「こどもまんなか」は市長公約でもありますので、この視点に基づいた事業には予算を重点配分していく傾向であることは変わらないと思っております。  タブレットの整備状況ですがこちらは、全小中学校の全生徒児童に1人1台配付しており、復旧率は100パーセントとなっております。 また使用方法としては持ち帰るということに慣れていただくためにもインターネットに繋がなくてもできるようなドリル学習から始めております。各学校により活用進度は異なると思いますが、まずはタブレットの使い方に慣れていただくこと、家庭ではタブレットはこうやって活用するんだなということをご観いただくことから順次始めているところでございます。	財務課 学校教育指導課	市回答のとおり	

③鵜飼地域づくり懇談会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
13	地域懇談	今問題となっていることに不登校やいじめに関する問題があると思うが、この「たきざわやさしき指標」のなかにはそのような問題解決の進捗を測る指標がないがこの点について伺います。	総合計画についてはこれから先の8年間に行政が進むべき方向性についての大枠を記載しているものになります。この計画を踏まえた上で各部において地域福祉計画・教育計画・道路整備計画など様々な個別な部門別計画を策定しており、この中で指標を設けながら事業の進捗を管理しているということになります。このような構成のため総合計画の中には不登校やいじめに関する指標というものは無いということになります。  不登校等については「不登校児童生徒解消対策事業」という事業があります。これは第1次総合計画の頃から引き続き取り組んでいる事業であり、大変重要な事業であると捉えています。その事業については進捗を測る具体的な指標も設定しており、その達成に向けて各学校で取り組んでいるところでございます。  第2次総計の策定に合わせてきめ細やかな対応を行うため、これまで健康や子どもに関する部分、福祉に関する部分を担っていた健康福祉部を、健康こども部と福祉部の二つに分割しました。合わせて出産から育児まで子どもに関することを一括で相談できる「こども家庭センター」も設置致しました。このような取組によって市民に寄り添いながら一緒に子育てできる環境を「こどもまんなか滝沢」の視点のもとに構築していきたいと考えています。	学校教育指導課	市回答のとおり	
14	地域懇談	台風被害等により防犯灯の木柱が倒れる事態が発生している。令和3年度に自治会宛てに地域に木柱が何本あるか等といった調査があったが、その後どのようになっているのか伺います。	市内全域に木柱がたくさんあることは、調査により判明しているため今段階的に更新していただいております。鵜飼地区の更新作業はいつになるのか等については決まり次第、自治会長さんを通してお伝えしたいと思います。	防災防犯課	令和7年度以降の木柱更新計画について、該当する地区の自治会長様へお知らせいたします。	令和7年3月予定
15	地域懇談	その木柱の更新はどこから行われているのか伺います。	既に傾いたりしているなど老朽化により危険な状態の木柱が川前に多いことから、川前エリアから更新に取り組んでいるところでございます。鵜飼地域でもかなり老朽化している木柱があると認識していますが、他のエリアにも危険性の高い木柱があることから、段階的に更新している状況でございます。	防災防犯課	上記と同様	上記と同様
16	地域懇談	細谷地、洞畑、白石地区は農業地帯で道路も簡易舗装しかされていないが、かなり古くなってきており道路に大きな凸凹が生じている。ある住民がこの凸凹について市に相談にいった所、当該道路については土地改良区の管轄のため、そちらに相談に行くように促された。土地改良区に相談にいった所、市への相談を促され何も進展がなかった。水路についても同様に耕作放棄地が増えてきており、管理されておらず老朽化している水路が増えている。市の方でもこの件をどのように考えているのか伺います。	道路については原則、その所有者が管理することになるということをお話したのだと思います。しかし土地改良区との話し合いの場に入ること等はこの問題の解決に向けて市から土地改良区に引き続き働きかけていきたいと思いますし、この件について道路課と共有したいと思います。  この会が終わったら是非、当該の場所を教えてくださいと思います。	道路課 河川公園課	市回答のとおり	
17	地域懇談	春先に商工会の所にあるバス停に蛍光灯をつけて欲しいという要望を出していたが、その件についての回答を頂いていないため回答を伺います。	要望についての回答が無いというのは不満足につながるものと認識しています。この件については、今どのような状況になっているか確認し、回答をすぐ出すように担当課に指示します。	防災防犯課	現地調査等を行い検討した結果を、令和6年11月末に回答しましたが、次年度以降についても、回答がまとまり次第速やかに回答できるようにいたします。	令和6年11月末
18	地域懇談	中央自治会管内で尿の入った容器が投棄される事件が何件かありました。その際に市役所に相談に行ったところ、中央自治会管内のことなので中央自治会で対応してほしいと言われた。しかし自治会としても対応ができなく困ったので警察に相談に行ったところ、市役所の道路課に電話してくれ、結果として尿の入った容器は道路課で処分してくれました。また、ごみの分別の件で環境課に相談にいった所、その件については環境課ではなく清掃センターの担当なので清掃センターまで行ってくださいと言われた。もう少し市役所内で情報連携や取次ぎをしていただければスムーズに事態を解決できると思うがこの件について伺います。	行政は縦割りだと未だに言われておりますので、しっかりと横の連携を図りながら各部署を繋ぎ問題解決に努め、市民の皆さんに満足いただける状況になるよう改めて徹底させていただきます。	総務課 環境課 滝沢・零石環境組合	【総務課・環境課】 市回答のとおり  【滝沢・零石環境組合】 不法投棄や集積所管理、不適物などの対応は、多くの市役所担当課（道路、河川公園、地域づくり推進課など）との協議が必要な場合が多いです。円滑な対応を想定した規約の変更を含め、環境課と協議したいと考えています。	

③鶉飼地域づくり懇談会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
19	地域懇談	行政が住民からの声に回答せず、対応を留保してしまっているのではないかと思いません。また今の話は氷山の一角であり、部内や課内で連携すれば解決するとかそういった類の問題ではないのではないかと思いますが、この件についてのご意見を伺います。	市に対してのご意見やお問合せは、直接やホームページ経由、声の箱で届けられるが、その中で回答を要求しているものについてはしっかりと回答させていただいていると思っているが、実際そうではないといったご意見だと思しますので、より一層しっかりと対応していきたいと思います。また、この問題はなかなか結論が出ないで回答までの期限が伸びてしまっているといった事態が多いのではないかと思います。なので日頃から職員には結論がすぐには出ないのであればその途中経過として、今どのような状況なのか、いつ頃になれば回答ができそうなのかといったことを順次回答するよう話しておりますが、この点についてより一層指導してまいりたいと思います。	企画政策課 総務課	市回答のとおり	
20	地域懇談	市から推薦依頼される委員が多すぎると思っています。他にも警察やその他団体からも推薦をお願いされています。少子高齢化や共働き、定年延長など様々環境が変わってきている中で、全部自治会推薦で出すのは難しいと感じています。しかも、各委員の継続意思の確認も自治会経由で行われており、大変なので辞めていただきたいです。委員の中には委嘱しなくても自治会だけで十分対応可能なものもあると思うので、本当にその委員の委嘱が必要なのかしっかりと精査してもらいたいと思うが、この点について伺います。	頂いた意見については持ち帰ってしっかりと検討させていただきたいと思いません。しかし、岩手山の噴火警戒の話もありますが多発する自然災害など、環境的には危険度が増している状況です。また様々な地域でそれぞれの地域課題を抱えている状況でもあります。そういった中で人と人がどうつながるかということが重要だとも感じています。自治会の役員のなり手がいないといった声もいただいておりますので、これらのことを踏まえ、今後の会議の持ち方や推薦依頼の仕方などについて検討を進めてまいりたいと思います。	地域づくり推進課	市回答のとおり	
21	地域懇談	若者活躍推進室で滝沢未来プロジェクトというのをやっているようだが、あれは学生にとっては非常にいい取組なんだろうと思うところであるが、一方私たちに何かメリットがあるのかというのが見えてこない。わざわざ室を設けて、人員を配置し税金を使っているの、この点について伺います。	滝沢未来プロジェクトにより学生から観光に関するアイデアが出て、それを事業化しています。具体的には柳沢の方で開催するロードバイクレースを事業化しています。このような取組に関するPRについてはまだ不十分だと思いますので、今後力を入れていきたいと思います。	若者活躍推進室	市回答のとおり	
22	地域懇談	岩手山の噴火警戒レベルが2になったが、もしもの場合我々はどういう行動をすればいいのか、また地域活動の中でどのような対策を取ればいいのか早めに指導していただきたいと思しますので、この点についての考えを伺います。	岩手山に関しては噴火警戒レベル2ということで、入山規制を実施していますが、すぐ噴火するといった状況ではなく、日々の監視を行っている状況です。この状況については近くの姥屋敷、柳沢、一本木の皆さんにはその情報を直接お伝えしている所です。この状況が変わった場合は、改めて市内全域に情報を発信したいと思っております。	防災防犯課	市回答のとおり	
23	地域懇談	滝沢市の下水整備は今何パーセントくらいまで整備されているのですか。下水処理については盛岡市の方の施設で一括して処理していると思いますが、その施設の更新の話はありますか。	今下水道の普及率の情報は持ち合わせていないが、市街化区域の公共下水道、それ以外の部分では合併浄化槽の水洗化といった形で段々と普及率は上がってきていると認識しております。ただ、市街化区域外の下水道事業についてはどうするかについては、各地域と話し合いながら一定の結論は得ているところですが、まだまだ課題は抱えていると認識していますので。浄化槽導入に関する補助等を行いながら、段階的に進めていければと考えております。また、下水道処理施設についてはやはり老朽化が進んでいますので、今後は下水処理施設を利用している各市町村の負担金は増えていくのではないかとこのような見方はしていますが、現時点で下水道処理施設の更新だとか移転だとかの話は聞いていない状況です。	施設課 経営課	【施設課】 施設課に関する部分は、市回答のとおり。  【経営課】 令和5年度末時点での市内における普及率は、公共下水道による整備で70.8%、合併処理浄化槽による整備で18.6%、併せて89.4%です。	
24	地域懇談	今8市町で進めているごみ焼却場の件については、おおよその場所は決まってきた状況だと思うが、その施設があと7年とか8年とかで完成すると認識しています。そうなったときに分別の方法が変わると思うので、分別について早めに指導していく必要があると思いますが、この点についての行政側の考えを伺います。	8市町のごみ焼却場については、令和14年からの稼働ということで、今検討を進めていますが、分別方法についてはその中で決まっていくものと理解しております。いずれ今の分別方法とは変わると思しますので決まった段階で皆様にお知らせし、新たな分別方法に慣れるための期間を設定できればと考えております。	滝沢・雫石環境組合 環境課	市回答のとおり	

④大沢地域づくり懇談会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	地域懇談	私の家は山の方にあり、一番困っているのが砂利道です。土ぼこりが舞って、車を2日に1回ぐらい洗車しなければなりません。毎年3回～4回ぐらい、市でローダーをしてもらって助かっているのですが、赤線（道路法の適用のない道路）という話で、越前堰の関係で舗装にできないということでした。住民が11世帯、会社が2つあり、何とか舗装にできないかと思っています。小さい子どももおり、配達の大きい車なども来ることを考えると少し考えてもらえないかなと思っています。加えて、砂利道は除雪をしてもらっていません。6、7年前から、やっぱりここは除雪する地域に入ってもらえと市に言われ、自分で除雪をしています。2年前自分の除雪車が壊れてしまって、自治会に話をして市から除雪車を借りて、使っています。除雪車を借りている手前、市で除雪をやってほしいとはなかなか言えないのですが、最初の頃は市で除雪をしてくれていました。若い人は早い時間に車で出かけると、高齢者の私が1人で除雪をする形になっています。あとは会社でちょっとした機械を持っているのでそれでやってもらったりするのが現状です。	確認して、お知らせしたいと思います。いずれ市道であれば我々が除雪等していく必要はあるのですが、まずは様々な相談をさせていただきながら、検討させていただきたいと思います。	道路課	市の除雪計画に基づき除雪を実施しており、法定外道路（赤線等）につきましても要望等に応じ実施しているところでございます。	
2	地域懇談	親子ひろばの遊具が危険で撤去してもらい、新しく設置していただく工事をしています。すごい金額がかかっているとのことですが、安全を期すとやはりお金がかかってしまうだろうなとも思っています。大変ありがとうございます。	なし	河川公園課	なし	
3	地域懇談	先ほどの道路の話ですが、実は市で舗装できないのであれば、地域資源保全組合の方でやろうと思っていろいろ考えましたが、市で管理しているということは、地域資源保全組合の予算を使えないということになりました。できれば我々の方で少しずつでも舗装しようかなという思いはありましたが、適用外ということで残念です。その他にも舗装していただきたいところがたくさんあり、市の道路の規定により対象にならない部分なのはわかっていますが、市でその部分の規定を除いて何とかできないのか、その辺の検討をお願いしたいです。子どもたちも通りますし業者も入ってきている場所で、冬場は通行がとても大変なところですのでぜひ検討をお願いします。	道路の関係はおっしゃった通り原理原則といいますが、規定通りにいけば同じ回答になってしまうとは思いますが。しかしながら、先ほど地域資源保全組合さんのお話もありましたので、どういった形でできるのかといったことも含めながら、改めて検討させていただければと思っています。	道路課	場所確認後、対応について検討させていただきます。	
4	地域懇談	地域のさんさ踊り保存会も市の指定を受けまして、何とか活動を続けています。大変ありがとうございます。今後もこれを機会にきちんと継承していくことが大事だと思っていますので、頑張っていきたいと思っています。	なし	文化振興課	市回答のとおり	
5	地域懇談	通学路の問題も長年難航しておりましたが、まず防犯灯をつけていただきました。あとはやはりあの道路の狭さです。前もお話しており、同じことになってしましますが、自転車を通る道路なので狭くて危険です。昔と違ってトラクターやコンバインも大型化した機械が大半で、それが通ると子どもたちが通れない状況です。去年、道路課の方に来ていただいて、側溝を埋めて何とかできないかという話をして、調査してもらっています。そういった部分もぜひ検討をお願いしたいです。	通学路であったり、側溝のお話については、現在の状況などについて、後ほど道路課の方から伝えるように改めて話をしたいと思います。	道路課	場所確認後、対応について検討させていただきます。	
6	地域懇談	ご存知のように高齢化が進んでおり、大沢地域も交通難民と申しますか、バスも通ってはいませんが、利用できるような状態ではありません。今は個々が車を持って何とかしていますが、高齢化してくると免許返納しなければならない時期が来ますし、そうすると病院、あるいは買い物などが非常に大変になり、交通政策が大事になると感じております。先日、NPOが地域の人たちを格安というか、実費で対応しているところに視察に行きました。滝沢では小岩井が同様に運営していますが、これは書類の処理が大変で、関わる人の人件費、おそらく皆さん奉仕してやっているとありますが、そういうところを市の交通政策としてやっていただければ、各団体、地域にもやってみようというところが出てくると思います。バス会社やタクシー会社と競合するわけですから大変なことは分かるんですが、今はバスの減便、それからタクシーは呼んでも来ない、ご存知のように人手不足でタクシーも呼んでも来ない現状です。その辺の対策もお願いしたいなと思います。これは大沢に限ったことではなく、滝沢市全体に関わることだと思っています。	おっしゃる通り、県交通が走っている市内の路線も、運転手さんの不足でかなりの減便になっています。また、商工会の近くにあったタクシー会社さんも昨年事業をやめ、タクシーを呼んでもなかなか来なかったり、拒否をされたりといったことも聞いております。先日、議会の方からもその交通対策について改めて話がありました。市といたしましても、小岩井でやっているようなことが、良い意味で面倒くさくなく実施できないのかといったところを検討させていただきます。中央タクシーさんがやっていたときには市内全域空白地はなかったのですが、今は他のタクシー業者さんも運転手さんの不足など苦勞されてるようですので、市といたしましても市民の皆さんの足について改めて盛岡、矢巾と一緒に考えていければと思います。	都市政策課	市回答のとおり	

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
7	地域懇談	ビッグルフ北側の開発について、どういった業種が入るのか公表できるのであれば、教えていただきたいです。	ビッグルフの北側の中心拠点の商業施設についてですが、造成については75%終わった状態です。 区画をA、B、Cと分けており、民間事業者さんが入ってどういったところが張り付くか進めています。概ね用途は立ちつつあるようではありますが、まだまだ公表するには至ってな状況です。どういった施設が張り付くのか皆さん関心を持っていただいていますので、公表できる段階で順次公表してまいります。 コンセプトといたしましてはA区画にはスーパーがメインの店舗として張り付き、細かな店舗も入る計画になっています。B区画はホームセンター、温浴施設やフィットネス、C区画は商工会の関係の地元企業さんが入るようなエリア、保育施設、あともう一つご意見にありました医療も医療モールというような形で、5つぐらいのクリニックと調剤薬局といったことで計画をしております。 しかしながら、なかなか今物価高騰やコロナなどで皆さんの経済状況など厳しい状況で、業者さんどものタイミングで乗り出してくるのか、今検討しているという段階です。 まずは令和7年度末には向新田線など、道路なども順次完成をする計画で進めております。 店舗の張りつきの状況によってはそれに合わせた形で整備はいたしますが、市でやっている分の道路については順調に進んでいましたので、今後公表できるタイミングで、順次、市民の皆さんにはお知らせしていきたいと思っております。	都市政策課	市回答のとおり	
8	地域懇談	上に関連して、特に病院、大きな病院じゃなくてもいいと思います。ちょっと見てもらって、大きな病院に紹介してもらおうにしても、かかりつけの病院ができるような体制が必要じゃないかなと思います。 大きな病院については市長の公約で、ということですがやはり10年、20年かかると思います。ところが今80歳の人たちに、10年15年後と言っても、厳しい人たちが結構います。大きな病院の誘致は当然時間のかかることと思いますが、それとは別な形で、医療政策というか医療体制、そういったものが今度の開発される部分に来る可能性があるのかどうか教えてください。				
9	地域懇談	親子ひろばのトイレについて、先日水道が数時間出っぱなしで、御迷惑おかけいたしました。市の方から張り紙をしていただき、私も3枚ほど作って蛇口のところに貼って見やすくした状態で注意を促します。 利用する皆さんに注意してもらおうようにします。	なし	河川公園課	なし	
10	総計	滝沢の小学校で人と人との関わり、コミュニケーションについて小学校教育の中でやらせてもらえないでしょうか。 普通の生活の中から、あるいは家庭から教わってきて、そして自分で考えて自分でやっていくんだと、授業としてやるようなことではないと考える方もいるかもしれません。 しかし、コミュニケーションについて教育を受けてこなかったことで、不登校になったり自殺をしたり、心の病になったり、つらい思いをしてきた人がたくさんいると思います。 やはり将来子どもたちが円滑にコミュニケーションできるように低学年から実技をしながら学んでいく形でやっていけないものではないでしょうか。	小学校の教育、中学校の教育の中ではまさに生涯に渡って自立して生きていくための基礎作りをする時期だと思っています。 今、滝沢市の教育の中で「滝沢魅力学」というものに取り組んでいます。 滝沢魅力学は、故郷を大切に思っ、周りにある環境、物を大事に思うこと、そういったものを含めながら、未来を開いていく子どもたちに、たくましく生きていく人作りをしたいという目的の授業です。 顔と顔が見える誰かがいてくれることで自分が安心する、そういった教育を取り組んでいきたいなと思って今は読み書きそろばん以外にも、総合的な学習の時間や生活科でたくさん時間をとって子どもたちは学んでいます。 子どもたちが楽しい、明日が待ち遠しいと言えるような教育を、子どもたちに寄り添ってやっていきたいなと常々思って取り組んでいます。  私もこの第2次滝沢市総合計画を作るときに、市内の小学校中学校、それから高校生の話を聞いたときにすごく感動したのですが、小学生の子どもたちに「優しさって何だろう」という質問で、子どもから将来に残したいものとか、優しさに繋がるものって何かあるかと聞いたら、この豊かな自然を残してほしいと子どもたちから言われました。 SDGsの教育であったり、そういったところがしっかり学校で行われていることによって自分だけではない、他者を思いやる、そういった教育が今子どもたちだんだん根付き始めていると思っています。 篠木小学校でも今年から篠木神楽に取り組まれました。県の重要文化財の認定第1号ですから、どう継承していくか市にとってもすごく大きな課題でした。 実際に体験しながら子どもたちは、いろんな経験をすることによって自分に合った踊りであったり、あるいは教え合う環境であったり、勉強は得意じゃないけれども踊りだったらうまくできるとか、いろんな経験をさせることが子どもたちにとっていろんな将来の自信に繋がったり、自分の思いを表現できるいろんなチャンネルにつながるのではないかと考えています。 また、いくつになっても学び直しができるようにということで、「まなぶ滝沢」の重点事業一覧表にも掲載があります。 いくつになっても、もう一度勉強したいと思ったことに寄り添えるような機会も用意していますので、小学校、中学校、高校だけではなくて、いくつになってもいろんなことに挑戦したいと思ってもらえるような滝沢市にこれからはしていきたいと思っています。	学校教育指導課	市回答のとおり	

④大沢地域づくり懇談会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
12	総計	妊産婦保健事業に産後ケアのことが記載されています。訪問型とデイサービスは分かるのですが、夫婦2人で子どもを育てる場合、一泊やショートの間もぜひ考えてほしいなと思います。	訪問型ということでご自宅に伺う事業と、今年からデイサービスということで、盛岡市内にあります産婦人科の一室を借りてゆっくり休んでいただくといったような事業を始めております。おっしゃっていただいたようなショートなども、近隣市町などを見ながら、きめ細やかなサービスを提供できるように検討していきたいと思っております。	こども家庭センター	市回答のとおり	
13	地域懇談	娘が今年佐世保から里帰り出産をしまして、佐世保の市役所と連携していただいて、滝沢市の方から保健師さんが自宅に家庭訪問していただき、ものすごく力になりましたし、すごく安心しました。滝沢市で住んで滝沢市で産むのであればいろんな助成などを受けられるのですが、なかなか離れてるとそういうことができないので、他市町村から里帰りしてきてもこうしてやっていただけるのは本当にありがたかったなと思います。	なし	こども家庭センター	なし	
14	地域懇談	人権擁護委員をやっています、子どもの人権の研修会で、盛岡市の子ども未来部の家庭センターの相談員をしている大林先生のお話を聞いてきました。電話相談だったり、対応相談だったり子どもさんから電話がかかってきたり、親御さんからかかってきたり、大変な現状にあるようですが、きめ細やかに対応してるそうです。滝沢も今年度から子ども家庭センターができて、専門の相談員の方などに気軽に電話をして相談できる場ができるのでしょうか。	今年に入り、こども家庭センターが新たに課として設置になっております。こちらでは妊婦になる前、母親になる準備から、子どもが生まれた健診なども含め、子どもについてどんな小さいことでも、幅広く相談ができる場になっております。スタッフも揃っておりますし、保健師もおそらく一番多い部署になっていると思います。なかなか電話ができない方もいらっしゃいますので、こちらからもいろいろアプローチをして、そういった方を見つけながら丁寧に相談していきたいと思っております。  今検討してる内容なのですが、ご質問あった産後ケアの関係で訪問型をやっておりますがプライバシーと、やっぱりお宅にお邪魔するという関係からなかなかニーズがありません。ですので、そういったことにも対応しようと、施設型として、市役所の中をどこか使いながら、来ていただくような形で相談などをできないのか検討しております。いずれそういったご相談など、ニーズに対応できるような形で順次検討しながら進めていきたいと思っております。	こども家庭センター	市回答のとおり	

⑤大釜地域まちづくり推進会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	地域懇談	市内でボランティア活動を行っており、市民福祉センターの部屋を借りて利用することがあります。その際に部屋の料金は無料ですが、夏と冬の期間は冷暖房費が徴収されます。ボランティアは無償で行っており、活動にかかる費用は私費で賄っています。その中で、冷暖房費が年間で7か月間発生している状況となっています。盛岡市では冷暖房費も含めて無料で利用できるのですが、ぜひ滝沢市でも無料で使えるようにしていただきたいです。	市の公共施設につきましては、団体が利用する施設使用料の減免申請を受け付けていますが、お話しいただいたとおり夏と冬の期間については冷暖房費を徴収しているのが現状です。しかし、各団体の特性や、様々な活動範囲がございますので、ご意見を参考にしながら検討していきたいと思います。(岡田副市長)	高齢者福祉課 財務課	市回答のとおり	
2	地域懇談	みどり団地はテレビの電波が弱いので、共同管理組合を作り、平成5年に村から補助してもらい電波の受信施設を建てました。そのおかげでテレビが見れるようになりましたが、その施設は一定期間で改修が必要となるため、管理組合で資金の積立てをし、再度改修を行った経緯があります。以前、NHKの方から共同受信施設についての補助金があるというお話を伺ったので、市役所の方に確認したところ、補助金はあるが、改修後では受け付けできないと言われました。しかし、改修には1,300万円がかかっており、そのお金は団地の住民で積み立てたものになります。終わった後だから補助金出すことはできないということですが、金額も金額なので、住民としてはなかなか、はいそうですかというわけにもいかないです。と言うのも、補助金が出るという通達のようなお知らせの文章が残ってないんです。自治会の資料や管理組合の資料を見ても、一切ないんです。市役所の方に聞いたら、最初のときに話してるはずだというだけで、市役所の方でもお知らせをしたという証拠のものがありませんでした。言い合いしてもしょうがない事ですが、必死になって貯めた1,300万円なので救済措置はないものかと思います。  総務省に電話して聞いたところ、NHKは確か放送法第15条で、そのような地域をなくすということをやらなくてはいけないことになっているようです。しかしNHKはもうそういう工事をやってませんと言いましたが、総務省に電話して聞いたところ、やっていますということですが、法律があるわけだから、NHKにやってもらえるように、市の方から働きかけをお願いできないものでしょうか。	補助金という形だと、どうしても終わった後の交付というのは制度上できないということで、市の担当の方でも何かできないかと調査はしたのですが、難しいというのが現状です。何かできる方法があれば検討していきたいと思います。(木下経済産業部長)  総務省の見解について、我々の方でも調べてみたいと思いますので少しお時間いただければと思います。(木下経済産業部長)	企業振興課	総務省東北総合通信局に確認したところ、地上デジタルテレビ放送の導入開始にあたって、NHK独自の補助金と総務省の補助金を合わせて活用し、地上デジタル放送化の工事を実施したとの事でした。また地上デジタルテレビ放送が導入された現在では、補助は行ってないようです。	
3	地域懇談	みどり団地は他にも問題があり、一番は排水の問題があります。浸透式の工事がされましたが、個人宅の敷地の中を最短距離で通っているようなところもあり、何か詰まった場合は、大変な自治会の出費があります。そのインフラ整備をしていただければすごく助かります。	持ち帰らせていただき、どういった手法があるか今一度調べ、また改めてご連絡をしたいと思っています。(武田市長)	施設課	市では個人の方への生活排水対策として、合併処理浄化槽の設置をお勧めしております。個別合併処理浄化槽設置工事に伴い、補助金の交付について市単独で上乗せ補助も行っており、また、水洗便所への改造資金に対する融資あっせん及び利子補給制度もございますのでご活用ください。	
4	地域懇談	国道46号の高規格化にも関連しますが、滝田橋の歩道部分が狭いので、拡幅を国へ要望することについて検討を願いたいと思います。滝田橋が開通して50年以上経つと思いますが、利用する車両が増える傾向にあります。特に平日の朝の通勤時間帯は、毎日のように渋滞しているのを見受けれます。そんな中時折自転車に乗って車の脇を通られる方もいて、道幅が狭く危険を感じます。接触事故が起きないように、もっと歩道部分を広げていただくよう国に対して要望していただくことをご検討願いたいと思います。	滝田橋は御所ダムを作る際、川幅が一番狭い所だから架けたという記憶があります。それは工事用の橋でしたが、その後撤去しないようにという地域の方々からの要望で今のようになっているというように把握しています。これまででも、どうしても川幅が狭いために流れが急で、大雨が降れば、川の洗堀があるとか、橋の周辺の洗堀があつて怖いというような声も伺っていました。滝田橋の改修に関して国交省の方にも話してみます。  また、46号だけではなく西バイパスができて、そのあと北バイパス、これはイオンのところから分れまでのバイパスですが、それを作っていただきたいというお願いはしています。まずは約300億円の建設費で西バイパスを造り、そのあと北バイパスを造るとというのがこれまでの計画でした。西バイパスの完成によって、盛岡環状線に入ってくる車が増え、交通渋滞が予想されるため、昨年市と県と国交省の3者で協議をしているところです。そして、先月交通死亡事故ゼロ3年の表彰を受けましたが、地域の皆さんの交通安全を考えて様々な活動を行っております。西バイパスの完成によってさらに交通渋滞することが予想されるので、他にも何か手法がないかということも、国交省とも様々検討しているところです。代替案をこちらからもお示しながら、少しでも大釜地域の交通安全に関して、国や県の方にも要望してまいりたいと思っております。また改めて回答させていただきたいと思います。(武田市長)	道路課	市回答のとおり	

⑤大釜地域まちづくり推進会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
5	地域懇談	<p>滝沢市の広報の方法について要望があります。先ほどの説明では農業担い手育成対策事業等かなりの金額が積まれていて、今年の6月から農業者等を対象に農業とエネルギー価格高騰対策給付金事業をやられていると思います。最近知人からそれを聞き、申請して一応もらえることになりましたが、その申請の際、「どこでこの給付金のことを知ったんですか」と聞かれました。色々調べたら、6月の広報に1回載ったきりです。詳しく知るためにホームページを見ましたら、PRがそのホームページ上に一緒に載っていました。それならばそのPRを広報の中に挟み込んでもらえば全然関係ない人も分かったと思います。何しろ文字だけで全部載っていて、分からないのではないかと思います。「実は申請数が少ないのではないですか」と聞きました。すると、「いいえ、担い手の皆さんには個別に通知してあります」と言われました。確かに農業やっている人は、担い手がメインですが、担い手でない人もかなりいるはずなので、その辺りも考慮してほしいと思います。また、その中に滝沢に住所を有しない個人とか法人も対象になるというように載っていますが、これはどのようにしてPRしたのでしょうかというのが素朴な疑問です。広報にも1回しか載っていないし、PR用紙も配られた様子もないし、どのように皆さんにお知らせしたのか疑問です。確かに担い手の人からの申請は行ってるようですが、それ以外の人はかなり少ないようです。</p>	<p>周知に関しては我々もいつも非常に困っておりますが、できるだけ皆さんに周知したいという思いがあります。農林課の周知の仕方とすれば、今おっしゃった通り広報に載せることと、他に我々が分かっている範囲では直接通知もいたしております。あとは農協を介しながら周知をしているところです。それ以外のところでも我々はできるだけお出ししたいので、口伝えもありながらお知らせしております。今後、さらに皆さんにきちんと伝わるような方法を検討させていただきたいと思います。（木下経済産業部長）</p>	農林課	市回答のとおり	
6	地域懇談	<p>令和6年から人事速報が広報に全然載っていないように思います。令和5年までは誰がどこにいるのか分かりましたが、6年度以降全然分からなくなりました。市議会議員や農業委員は顔写真入りで載っているし、民生委員の方は氏名が載っていますが、市役所の人は誰がどこに所属しているか全然分からなくなりました。他の市町村では4月頃に何々課は誰々って、全ての名前が載ってる広報もありますし、課長さんとか主査クラスまで載っているところもあります。でも滝沢市では令和6年からその部分が消えています。なぜなのか、消した理由はあるのでしょうか。</p>	<p>ホームページに載っている広報を今確認してみました。私も基本的には載せているというイメージで、載せないというような判断をしたつもりはないのですが、市役所の中の話で恐縮ですけれども、基本的には総務課という人事を担当しているところが載せるという形もあります。今日終わるまでに確認してみます。載せていないとすればどのような意図があったのか、後ほど文書でご回答申し上げたいと思います。（企画政策課福井総括主査）</p>	総務課	<p>職員の人事異動に係る広報掲載については、平成28年度までは掲載しておりましたが、掲載内容の整理等に伴い、平成29年度からは掲載しない扱いとしております。新聞掲載については、引き続き行っているところであり、市民等の皆様のニーズに合わせて情報提供に努めてまいります。</p>	
7	地域懇談	<p>前の市長さんにも質問したことがあり、駄目だと分かっていますが、東林寺から裏通りに通ずる下水道の整備をする予定はないのでしょうか。浄化槽の話はされますが、それを作るにも結構費用が掛かると聞いています。</p>	<p>同じお答えになるとは思いますが、公共下水道は市街化区域内に整備するのが原則となっています。大沢や篠木では農業集落排水を公共下水道としても使っておりますが、市とすれば既に市街化区域の整備は終わったという状態になっております。それ以外の地域に関しては合併浄化槽を市の補助を活用していただきながらお使いいただくという流れになっております。補助金の額は何人槽かによって決まります。例えば5人槽であれば、既存の住宅で補助金額は48万円です。7人槽であれば59万円、10人槽であれば82万円という形になります。新築の場合も、それぞれ39万、47万4千、66万といった形で補助がありますので、活用いただければと思います。（岡田副市長）</p>	施設課	市回答のとおり	
8	地域懇談	<p>民生委員をしております。去年は奥州市で、今年は山形県山形市で研修してきました。どちらも社会福祉協議会のお手伝いをいただいて、市の方にも色々教えていただいたり、助言していただきました。その時、滝沢市の社会福祉協議会の正職員の人数が6人で、その他は非常勤ということを知って驚きました。ところが、私たちが視察しに行ったところはどちらもそうではありません。市役所のような形で地区をまとめています。山形市では民生委員の他にも補助の方が、50人に1人います。それ程地域のまとまりや繋がりに力を入れていました。私の亡くなった叔父が県の社協の事務局長で、各市町村にも社協を作ろうと、私が子どもの頃に一生懸命取り組んでいた姿を見ているものですから、様々考えてしまいます。災害があった時には、社会福祉協議会が窓口になって様々な事を行います。ですから災害が起きた時、例えば岩手山の噴火の時に正職員が6人だけで大丈夫だろうか、余計な心配かもしれませんが考えてしまいます。</p>	<p>社会福祉協議会は市から委託をしている事業もある中で、市からの補助金も使いながら運営をいただいております。各市町村によって行っている事業量が異なりますので、必ずしも人数によって社会福祉協議会の活動が小さいということはないかと思えますし、市が直営で行っている部分もあります。ボランティアセンターも今年度、滝沢の社会福祉協議会で持っていらっしゃいますので、いざとなったときにはそこが窓口になってくれます。今年も東北管内での災害に、全国から派遣していただいておりますし、市でも協定締結をしておりますので、全部社会福祉協議会さんだけの活動ではなく、市も一緒に行っております。活動に支障がないような体制については、毎月社会福祉協議会と市とでお話し合いする機会がありますし、二か月に一回私も入って社協さんと懇談する場もあります。そういった事からも、活動に支障がないような体制づくりを今後行っていくように努めてまいりたいと思います。（岡田副市長）</p>	地域福祉課	市回答のとおり	

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
9	地域懇談	<p>スクールガードもしており、教育長さんにお伺いしたいのは、私たちが子どもの頃は、おはようやこんにはの挨拶がごく普通にされていましたが、コロナの流行や様々な事件が起きてから学校では挨拶しなくて良いように指導されていますよね。4月からスクールガードで立っており、声を掛けて子どもたちと親しくなろうと思っていますが、挨拶する子どもは少ないです。</p> <p>そのようなところは篠木だけではないと思いますが、大沢の方では、スクールガードが子どもたちと一緒に歩いて学校の方まで行くのでとっても挨拶が良いそうです。</p> <p>でも私たちは、ただ立ってご挨拶するだけだから、その違いがあるのかもしれませんが、学校でもご挨拶の大切さを教育することに少し力を入れてもいいのではないかと思います。</p>	<p>日頃より地区の皆様方には子どもたちの登下校の見守りということで、スクールガードを、暑い日も雨の日も風の日も雪の日も立って守ってくださっているおかげで、本当に事故なく子どもたちが学校に安全に通っているなど感謝しきりであります。</p> <p>挨拶をしなくても良いという指導はどこも学校もしてはおりませんが、挨拶の声小さいというのは本当に残念なことだと思っています。</p> <p>ただ、今学校を回っていて私自身感じるのは、コロナが終わってからもやはりまだマスクを外せない子が多いです。それは、年中感染症がありますし、滝沢の小学校では先週くらいからもインフルエンザで学級閉鎖を3ヶ所しています。年中何かしらの感染症がある中、コロナ以降やはり免疫が落ちているのではないかと、感染確率は高いのではないかと、心配で外せない子がいたり、あるいはやはり思春期で自分の顔を3、4年さらさないできたら、取れなくなっているというの、高学年や中学生になると多くなってきます。だから、体育祭や、学習発表会、文化祭といった、大きな声を出す時にこれはチャンスだとか、他にも中学校3年生になると、入試の面接があるから外すようにという形で、タイミングを見ながら声掛けをしています、一概に無理やりというわけにもいかないのが現状です。</p> <p>そのような中、学習発表会や文化祭で前よりすこく声が小さくなったというのは、どの学校でもすこく感じていることです。</p> <p>挨拶はやはり人間関係を作っていくときの基本ですし、挨拶してもらって顔を見て覚えて安心して挨拶を返せるとか、次は自分からできるというがあると思いますので、申し訳ないのですが、本当にいつか喋ってくれるかもということ諦めずに大人の方から声を掛けてもらえればありがたいなと思います。</p> <p>学校の方でも積極的に挨拶は地域の方の繋がりや、友人関係を作っていく最初だと、人間の基本だよということを教えていきたいと思っていますので、これからもよろしくお願いします。（太田教育長）</p>	学校教育指導課	市回答のとおり	
10	地域懇談	<p>ゴミ処理施設の整備についてはどのくらい話が進んでいるのでしょうか。厨川に決まったというような話も聞こえてきておりました。</p> <p>私もごみ処理施設建設等の立場にもなったこともあるので、施設そのものについて安心はしていますが、中には分からなくて不安を持っている方もいると思いますので、分かる範囲でお答えいただきたいと思います。</p>	<p>現在盛岡市の前潟方面の方々に声掛けまでは行っているというように伺っています。これからだんだん測量に入っていくわけですが、今後そこで詳しく調べていくようです。</p> <p>関係市町で首長の話し合いはしており、まずは1日の処理量を438tと見越していますが、それを少しでも圧縮できないかというような声も出てきているところです。400t超えるとまたさらに建設規模も変わってくるので、そこをどうするか話し合いをしているところです。</p> <p>まずは令和14年稼働を目指して協議をしているところです。令和9年までに納入すれば国からの補助率が全く違い、そこを超えてしまうと今度は様々な補助をもらえなかったり、随分減ってしまうので、まずは関係市町の首長の皆さんと協議をしながら、令和9年までに納入できるように検討しているところです。</p> <p>また、今後一番大変だと思っているのが、どういった処理形態になるかです。滝沢市のように熔融炉になるか、あるいはストーカになるか、その部分がまだ決まっていないところです。</p> <p>まずは、こういった形で建設に向けて準備すればいいか等、施設準備検討委員会に対して挙げていく材料について検討しているところですが、一番大変なのは市民の皆さんの分別に対して、炉の形態によって分別の仕方が変わってくるかもしれませんが、どのように勉強していくかということだと思っています。</p> <p>各市町から持っていくゴミの量で市町の負担である運営費が決まるという事になっておりますので、市民の皆さんと一緒に減量していけば減量していくほど負担は減っていくことになり、そこについて住民の皆さんと協力しながら今後検討していきたいと思っています。</p> <p>12月にもまた協議会が開催されますので、そこでまた分かることがあれば、広報等でお知らせしていきます。（武田市長）</p>	滝沢・雫石環境組合環境課	市回答のとおり	

⑤大釜地域まちづくり推進會

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
11	地域懇談	大釜駐在所が移転になる件について、行政の意向もあるというように聞いたことがあります、そのことについて分かる範囲でお答え願います。	今年度、県予算で用地取得費を予算計上したという情報がありました。その後については、来週の木曜日、大釜駐在所新設に伴う市長説明ということで県警本部が来ることになっておりますので、おそらくその説明の中で、大釜のどこの位置に新設するのかが話があるのではないかと考えております。地権者の方の関係等いろいろあると思いますが、お伝えできる情報はしっかり伝えてまいりたいと思います。 スケジュールは、今年用地取得すると、来年度設計に入って、再来年度あたり工事に入るのが順当ではないかと見ております。もしくは来年度設計して、来年度中に工事に入っていくのかもしれませんが、スケジュールもあわせて県警の方に確認しながら、地域の皆様の方にお伝えしてまいりたいと思います。（岡田副市長）	防災防犯課	令和7年2月1日に、大釜地区センターにおいて県警本部担当者が地域住民（大釜駐在所連絡協議会委員等）に対し説明会を実施し、建設地は滝沢市大釜大畑77番地2であること、今後のスケジュールとして、令和7年6月から7月に着工し、同年12月に完成・移転予定であることを説明したと報告を受けております。	
12	地域懇談	私の住んでる地域は、若い人がほとんどいません。家族構成を見るといいますが、ここに住んでいなくて、別な場所に住んでいるというところが多いです。そうすると当然、若い人がいないから子どももいない、子ども会もいつの間にか消滅してしまっているということになっています。 高齢者夫婦、高齢者一人暮らしという家族構成の人たちが年々多くなってきました。そうすると、例えばゴミを捨てる、集積所に持っていくと言っても、なかなか大変になってきている人たちが出てきてます。また、私のところもそうですが、今のところ車の運転ができるので、病院に行くには差し支えなくとも、あと5年10年経ったらどうやって病院に行くのかという事を考えると、少し不安なところがあります。当然今の年齢からすると、免許証も返納する時期が近づいてるのかなと思います。免許証を返納したら、どうやって病院に行ったらいいのかということも考えています。 ゴミを捨てるのか、免許証を返納した後の通院等移動について、どのような形でやっていくのが良いのかというのを、ぜひ検討していただきたいと思います。	おっしゃる通り地域が偏在してきて、新しく住宅ができたところは若い世代もいて、子どもたちもいるといったところと、元々滝沢に住んでる方の方のところでは高齢者の方の1人世帯が増えているのが市内の実態であります。 今後ゴミ出しをどうしていくのか、なかなか集積所まで行けなかったり、地域の皆さんにもやっていただいている集積所の管理をどうしていくのかという点は我々も検討すべき事項だと思っておりますので、対応等その都度お伝えしてまいりたいと思います。 また、交通の足という面で、以前中央タクシーさんが事業をしていた際には、市内どこでも行くということをおっしゃっていたのですが、ご承知の通り昨年事業停止されました。これまで、実態とは違うかもしれませんが、滝沢には空白地帯はないという捉え方でしたが、中央タクシーさんがお辞めになって、いよいよ地域を歩いてタクシーを呼んでも来てくれないとか、今病院とか移動したいと言ってもなかなかタクシーが来てくれないという事態になっています。公共交通で特にも交通弱者と言われる皆さんの足をどうやって確保していくのかということ、線で移動する公共タクシーだとすれば盛岡と矢巾と一緒にしながら、計画を立てようというのが一つあります。 また、地域と密着した形で地域の皆さんが病院、場合によっては買い物はどういった形で手段を作れるのかということも検討しておりますので、ご意見を受け承りながらまたこちらの方もお繋ぎしてまいりたいと思います。（岡田副市長）	都市政策課	市回答のとおり	
13	地域懇談	高齢者の病院への移動について、雫石の福祉協議会に所属してボランティアをしている方が言うには、運転できる人員はそんなに多くないものの、1回につき200円で、距離は関係なく病院や買い物などどこにでも連れていってくれるという制度を活用しているようで、すごく良いと思いました。 ボランティアなので所属しているのは4、5人しかいないそうですが、地域で協力し合える体制は羨ましいと思ったので、滝沢市もそのようになっていけばいいなと思います。	社会福祉協議会にお願いして、障がいのある方を対象に有償ボランティア輸送を行っていたのですが、運転手さんの確保ができず、今は休止状態です。市といたしましてこの課題に対応するためにも、有償ボランティアで運転なさる方が講習を受けるのに掛かるお金を来年度から市で補助を出す等、担い手をつくるための取組みを行っているところです。（岡田副市長）	地域福祉課 都市政策課	市回答のとおり	
14	総計	総合計画の中身で、福祉部門で老後が不安なく暮らせると感じていたのがありますが、一番少ないというのは気になります。 市の方々はこのようにこれを受け止めているのですか。	福祉部門の指標として「老後が不安なく暮らせる方の割合」が16.2%と低い、ということかと思えます。アンケート時がコロナ禍ということもあり、だんだん低下傾向にあります。 これを踏まえまして「いきいき滝沢」ですが、新たに力を入れていかなければいけないと考えておりますので、皆さんに「良くなったな」と感じていただけるような取組みを進めてまいりたいと思います。（企画政策課福井総括主査）	企画政策課	市回答のとおり	

⑤大釜地域まちづくり推進会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
15	地域懇談	有償ボランティアの講習を受けて過去に活動していました。運転手が少なくなったというのはその通りだと思いますが、なぜ無くなったのかなと思います。	やはり運転士さんの確保ができなくなったというのが最大の原因です。また先ほど公共交通の話もありましたが、やはりタクシーの運転手やバスの運転手など、新聞などでも出ていますが、なかなか運転手の確保ができないということで、公共交通の減便が出てきています。先日市長も出席しましたが自衛隊の皆さん55歳ぐらいで退官されると、第2の仕事としてバスの運転手もどうかということ、バス事業者と一緒に運転手の確保に取り組んでいます。市でも自衛隊の方にも働きかけをしながら体験といいますか、そういったものに繋がるような形で、バスはあっても運転する方がいないとか、タクシーがあっても運転する方がいないということになりますので、民間の皆さんも協力しながら今後も取り組んでまいりたいと思います。（岡田副市長）	地域福祉課 都市政策課	市回答のとおり	
16	地域懇談	水道のことで、今市水道の料金の徴収が民間がやっているのですか。水の管理はどちらがやっているんですか。	徴収は民間でやっており、水の管理は市でやっています。全国的にはその民間へと移行しているところもあります。議会の方からも質問があったりしますが、今の料金のメーター検針などは外部に委託をして、民間の方にやっていただいています。今現在も含めて水を作って、管理は市の上下水道部でやっておりますが、こちらは市の単独で継続する予定です。しかし、事務の中で例えば盛岡市や雫石など近くのところで事務を連携することなど、効率化を図れるのであれば、そういった面は考えていきたいなと思っております。（岡田副市長）	経営課 施設課	市回答のとおり	

⑥東部地域づくり懇談会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	地域懇談	バスを利用した際、高齢者がバス運転手に何かを見せて100円支払っているのを何度か目にしました。調べたところ、盛岡市では定額を支払うと写真付きのカードを発行されて、それを降車の際見せると100円でバスを利用できるサービスだそうです。滝沢市でも高齢者が増えてきて、車が無いために不便を感じている人は多いと思います。バスを利用する場合、東部地域から盛岡駅まで片道430円掛かるため負担にもなると思います。高齢者の交通手段に係るサービスを検討してほしいと思います。	現在、公共交通の在り方につきまして、滝沢市と矢巾町、盛岡市の3者で連携しながら、地域公共交通の在り方について、現在協議を行っています。その中で市が果たす役割と何ができるか、改めて考えていきたいと思っています。高齢者の皆さんあるいは交通弱者の皆さんに対して、どのような対策等ができるのか併せて現在検討しているところです。（武田市長）	都市政策課	市回答のとおり	
2	地域懇談	現在、盛岡保護観察所で被害者担当保護司をしています。被害者担当保護司は、岩手県に女性1人、男性1人いて、交代で観察所で犯罪被害者の方のために活動しています。今年の4月、47都道府県の中で一番最後に岩手県で犯罪被害者等支援条例ができました。他県では、市町村でも条例を制定しているところもありますので、滝沢市でも検討してほしいと思います。また、犯罪被害者保護司の活動の中で、被害者のお話を聞く機会が度々あり、先日は池袋暴走事故の遺族の方のお話を聞きました。その遺族の方は奥さんと娘さんを亡くされ、市役所で様々な手続きをしなければいけなかったそうです。窓口も1ヶ所だけではなく複数あり、職員が変わるたびに何度も同じ説明をしなければならず、すごく傷ついたと話していました。市町村にワンストップで犯罪被害者や遺族の方に寄り添えるような窓口があれば、被害者の方にとってはすごくいいのではないかと感じました。	犯罪被害者支援につきまして、我々も勉強してまいりたいと思っています。意見につきましても、持ち帰ってお答えしたいと思います。（武田市長）	防災防犯課	岩手県犯罪被害者等支援条例の設置を受けて、市条例の設置やワンストップ体制の構築に向け各関係機関との連携や情報収集を行っております。	
3	地域懇談	長根地区内に未舗装道路の生活道路があります。そこは市道ではなく、土地改良区が所有する道路だと聞きました。以前、市役所に連絡して砂利を入れてもらい、なんとか普通に通行できるようにしてもらいましたが、雨が降ると道路幅員いっぱいには30センチ程の水たまりができてしまいます。子どもたちも迂回して通っていたり、夜になると街灯もなく暗いため、土地改良区と協議していただき、街灯や砂利舗装を対応してほしいです。	道路につきまして、市道には認定する基準がありますので、後ほどその場所をお知らせいただいで、道路課に伝えて、改めてお答えしたいと思います。街灯の必要状況なども併せて検討していきたいと思っています。（武田市長）	道路課	土地所有者である土地改良区に確認の上、街灯や敷砂利について検討してまいります。	
4	地域懇談	たきざわ市議会だよりに、福祉バス運行事業についてのQ&Aが掲載されており、バス乗車時間や利用者数に見合ったバスの仕様についての検討という問いに対し、本事業を委託している2事業者が保有しているバスに起因するため、本市としての検討は困難であると回答があります。昨年の資料をみると、年間約10ヶ月、だいたい月8回運行していて、往復で約900名利用しているようです。1回あたり平均約10名しか乗車していないため、委託している2事業者の大型バスに限らず、中型バスを所有している他の業者に委託することもできると思います。市議会だよりの回答を見ると、事業者に任せて市では検討しないように見受けられます。福祉バスの運行について、再検討をお願いします。	福祉バスにつきまして、今日県北バスさんが運行しているのを見ましたが、大型バスではなく、小さい中型バスが走っていました。また、他の業者に委託することにつきまして、福祉バスを運行するためには、路線バスを運行する免許があるバス会社でなければ、福祉バスの運行ができないという規定があったと思います。そのため中型バスを所有していても規定に合致しない場合は、福祉バスの運行ができないようです。今日市役所前で見た福祉バスには2人乗車していました。中型バスに変更するなどの形で、経費の削減も図っているようです。また、福祉バスの運行につきまして、どのように進めていくべきか先ほどの地域公共交通の在り方も含めて検討してまいります。また改めてお知らせしたいと思います。（武田市長）	高齢者福祉課	市回答のとおり	
5	地域懇談	5月9日、菓子駅に初めてチャグバスが来ました。私もすごく感激しました。しかし、バスの装飾をする園児が着る半纏が男女5着ずつほどしかなく、交代で着ているようでした。子どもまんなか滝沢であれば、あと10着ぐらいずつあればいいのかなと思いました。また、滝沢市に病院を誘致するというを以前から話していましたが、この頃音沙汰がなくなったような感じがします。大釜地域を医療ゾーンにするという話も聞きましたが、最近は全然話がありません。病院についても、200万円くらいの費用でアンケートを取るということを聞きましたが、いつ実施されるのかお伺いします。	アンケートにつきまして、もう既に発送し現在回収しているところです。回収した内容を今年度集計し、傾向を見ながら来年度報告書を作成する予定です。また、市内各医療機関の方からもアンケートをとったり、実際に出向いて医療機関の先生からお話も聞いております。市民の方からの意見と医療機関の先生の意見を踏まえながら、来年度滝沢市の地域医療の在り方についてまとめたいと考えています。（佐藤企画総務部長）  半纏の件につきまして、持ち帰ってきちんと考えていきたいと思っています。チャグチャグ馬コに関しまして、新聞でご覧になった方もいらっしゃるかと思いますが、10月27日に東京の京橋から日本橋まで馬4頭が行進して市のPRをしてきました。東京に住む方々が集まり、「東京チャグチャグ馬コ」などチャグチャグ馬コを支援する団体で滝沢市のチャグチャグ馬コを支援してくれています。その支援団体の要請もあり、今年10年振りに関東を馬が歩いてきました。コロナが明け、滝沢市にも多くの観光の方々が来るようになりました。その弾みをつけながら、チャグチャグ馬コあるいは馬事文化に関して、様々な方々の認識を高めていきたいという思いがあり、今年京橋から日本橋までパレードをしてきたところです。参加した団体のトップバッターだったため、難しい部分もありましたが、多くの方々に喜んでいただいたこと、そしてチャグチャグ馬コが東京を歩くということで、滝沢出身の方がわざわざ東京に見に来てくれたということもありました。経費はかなり掛かりましたが、市のPRも実施しながら地元の方のみならず県外の方々にも理解してもらえるような活動を現在行っています。また、病院誘致につきまして、諦めたとは全く思っておりません。現在、岩手県の医療体制の在り方などから、どのような形で提案をしていかなければならないか検討しています。日赤さんもいづれ建て替えの時期は来るため、その際どのように進めていくか、早めに提案していかなければならないと思っています。盛岡市役所の建設について、現在話し合いをしています。実際に完成するのは10年以上先の話です。10年以上先の話し合いを現在行っているわけです。同様に、日赤さんも話し合いなど進めていかなければならないと思っています。まず、病院のことにしましては、これからの地域医療の在り方、そして岩手県内の病院編成の在り方なども含めて、我々から県あるいは日赤さん、そして国の方にも訴えていきたいと考えているところです。（武田市長）	企画政策課 観光物産課	市回答のとおり	

⑥東部地域づくり懇談会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
6	総計	<p>総合計画の概要版パンフレット3ページに、懇談会を34回開催したと記載がありますが、内容はどのように反映されていますか。</p> <p>また、広報の配布について、SNSの発達によりホームページでも閲覧できますが、紙面で見ると良いと思います。広報の配布を現在月2回行っていますが、例えば冬季間は月1回にする、郵送を活用するなど何かできないかと思ひます。</p> <p>市全体で色々なアイデアを持っている人がたくさんいると思うので、市民全体からアイデアの募集のためのアイデアボックスの設置を考えてみてはどうでしょうか。アイデアの提案回数によって景品を贈呈したり、集まったアイデアを発表する場など設けても良いのではないかと思ひます。</p>	<p>市民の方の意見を聞きながら市政運営することは、非常に大切なことです。どのような形で市民の皆さんの意見をお聞きするか様々考えています。現在実施しているのは、市政懇談会で地域を回って皆さんの声を聞く方法と、市長と話そうPTAや子供会などの任意団体やグループなどが市長と話す方法があります。このような形で市民の皆さんの声を聞いています。</p> <p>SNSのお話もありましたが、市ではXやインスタグラム、YouTubeなどで情報発信しています。広報の配布につきまして、若い世代はスマートフォンで閲覧する方法もありますし、一方高齢者の皆さんなど紙媒体が良いという方もおりますので、情報発信の在り方、広報の在り方についても、どうすべきか様々検討しています。</p> <p>また、昨年度より滝沢ミライプロジェクトで、市の若者活躍推進室と岩手県立大学の学生が地域課題などについて一緒に検討しています。学生の意見や考えたことを事業化しているところもあります。市民全体からアイデアボックスのお話もいただきましたが、その中でもどのような形で市民の皆さんのアイデアをいただけるか、SNSなどのツールも含めて検討していきたいと思ひます。（佐藤企画総務部長）</p>	企画政策課 たきざわ魅力発信室	市回答のとおり	
7	総計	<p>総合計画の基本構想として、市民生活の基盤となるセーフティネットの堅持が掲げられています。滝沢市において市民生活のために補償しなければならない最低限度の生活環境基準ということですが、全体的に見てもあまりわからなかったため、詳しくお聞きしたいです。</p> <p>市役所周辺を中心拠点として都市機能を集約していくと記載がありましたが、その一方で市内各地域を結ぶ公共交通網が弱いということも書かれていました。アクセス強化に向けた検討を行うということでしたが、どのような検討を行っているのかお聞きします。</p> <p>岩手県立大学の周辺で、門前町構想の進化を図りながら発展を目指すということで、大学を中心としたまちづくりとともに、産業の集積を目指すことが進められています。大学周辺には、多くの研究施設がありますが、スーパーなどの商業施設やカフェなどが無いため、研修施設以外の誘致も進めてほしいです。</p>	<p>総合計画におけるセーフティネットの部分について、具体的にわかりづらかったということで、確かにパンフレットの中だけでは、読み取れない部分であるかと思ひます。市としては、医療、福祉、道路環境、生活保護など、市民の皆さんが生活していく中で、最低限生活できる環境を作っていく部分をセーフティネットの堅持ということで総合計画の中で考えています。（杉村企画政策課長）</p> <p>市役所周辺について、市役所を中心に総合公園や滝沢ニュータウンなどを中心拠点と位置付けて計画を立てています。ビッググループ滝沢の北側約13ヘクタールの区画のうち約11ヘクタールを商業地区としており、現在造成が75%終わったところです。商業地区を区画割し、買・食・健・育の4つのコンセプトで商業施設や医療施設、保育園を貼り付けていくことで、現在民間の皆さんと連携しながら進めています。</p> <p>交通網について、先ほど市長からも話しましたが、現在矢巾町と盛岡市と共に計画を立てています。冬時期も含めて課題であり、今まで様々なモデル事業を実施しましたが、実施しても乗車人数は少ないという現実もあり、どのような便が有効に皆さんご利用いただけるのかということも含めて、検討を進めています。障がいをお持ちの方が病院に行くのが大変だということもあれば、個別に移動する手段がなく困っているなど、様々な要因も含めて総合的に検討していきたいと思ひます。</p> <p>滝沢市内の路線バスも運転手不足などの要因により、2年間で約200便減便されています。先日新聞などで報道がありましたが、自衛隊OBの方が第2の就職先としてバス運転手になり、バスを運行していただく担い手になっていただけないかということで、市長が国に働きかけて、乗車体験が行われました。引き続き、バス運転手の担い手の確保に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>最後に岩手県立大学周辺について、イノベーションセンターの4号側の続きに、約15ヘクタール弱のエリアがあり、そこを今年度市街化区域に入れる手続きを県と国と連携しながら進めております。今までは、ITに専門特化した形でしたが、岩手県立大学や盛岡大学に様々な学部がありますので、各学部を卒業した皆さんもイノベーションパークで交流をしたり、仕事をできるような、ITと関連する産業の企業も集積できるように今後進めていきます。その中で、お話にありましたように商業施設やカフェなどの施設についても検討していきたいです。（岡田副市長）</p>	企画政策課 都市政策課 企業振興課	市回答のとおり	
8	地域懇談	<p>滝沢市国際交流協会に働いているんですが、お願いがあります。市のホームページに10月末現在の外国人250人と記載がありました。広報や様々な場所で、多言語表記をぜひお願いしたいです。いところで災害が発生するか分からない世の中で、外国人の皆さんは漢字、カタカナ表記ばかりでやさしい日本語、英語、中国語表記がなく、とても不安だと話しています。滝沢に住んでいても、広報などが届いても英語やさしい日本語の表記がなく、何も情報を得ることができないという方が多いです。久慈市では、やさしい日本語でホームページが閲覧できるようになっています。ぜひ滝沢市でも250人の外国人、もしくは技能実習生など、たくさんの方がいらっしゃいますので、ぜひ検討していただければやさしさに包まれた滝沢になるのではないかと思ひます。当協会会長からも、当協会でもできることがあれば、ぜひご協力したいと申しておりますので、この場を借りてお願いしたいと思ひます。</p>	<p>現在、市ホームページの改修をしており、12月1日にリニューアル予定です。その中で、多言語機能ということで英語、中国語など4カ国語に切り替えが可能で、どなたでも見やすい形を目指し現在改修を進めております。（佐藤企画総務部長）</p>	たきざわ魅力発信室	市回答のとおり	

⑥東部地域づくり懇談会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
9	総計	<p>総合計画を見ると、思いやりの関係性や主体的な地域づくり活動を目指すとはありますが、その活動する場所、例えば菓子の場合集会所がとても狭く、健康教室をやるにも狭くてできません。そして、隣の自治会の活動センターまで来ないとできない状態です。長い間そういうやり方でやってきましたが、住民も高齢化して活動場所まで来ると体が難しいのが現状です。できるだけ早く集会所を建ててほしいです。</p> <p>イベントについて、どのイベントも中心となるのは市役所、総合運動公園、ビッググループなどです。東部から参加したいと思っても、移動手段がなくて行きたくても行けない人がいると思います。そういう人たちのことも鑑みながら、イベントを考えてほしいです。例えば、会場までのバスを準備する、イベントの開催場所を市役所周辺と東部地域を交代で行うなど検討してほしいです。市役所周辺の住民を中心に活動なのかなと捉えてしまいます。総合計画の思いやりなどを指す上で、平等性を望みますので、東部地域のことも考えたイベントを開催していただけると嬉しいです。</p> <p>また、以前も申し上げましたが、東部地域から鶴飼地域へのアクセスが悪いので、改善してほしいです。</p>	<p>集会所につきまして、自治会の皆さんと市の地域づくり推進課で、今後どのような形で地域の皆さんと整備を進めていくか具体的に話し合いを進めていけるのかなと思います。各地区で課題のある集会所は、段階的に整備を進めていて、今年度は法誓寺自治会で耐震化の問題があり、現在更新を進めているところです。このように段階的に進めさせていただければと思います。</p> <p>また、イベントの分散につきまして、各地域の皆さんとその地域でどのようなイベントを開催すればいいのか、話し合いながら検討させていただければと思います。</p> <p>アクセスの関係は、先ほど市長からも話しましたが、公共交通の在り方なども含めながら、引き続き検討させていただければと思います。（岡田副市長）</p>	地域づくり推進課 都市政策課	<p>【地域づくり推進課】 地区集会所の建設（更新）につきましては、建設費用が高額であることから設置者（自治会）の負担軽減のためコミュニティセンター助成（宝くじ助成）を活用しておりますが、これまでに市内で3カ所の実績があります。</p> <p>活用にあたっては、自治会が法人格を取得するなどの要件がありますので、まずは、貴自治会の現状とご意向をお聞きしたいと思いますので、地域づくり推進課にお問い合わせください。</p>	
10	総計	<p>野沢付近の道路で冬期間除雪があまり行われておらず、歩行が困難なときがあるので、きちんと除雪を行ってほしいです。</p> <p>2点目として先ほども話題になりましたが、岩手県立大学周辺には買い物できる場所が少なく、非常に困っています。前期基本計画市域全体計画の福祉部門の施策4にも当てはまる項目であると思います。この地域には高齢者も多く、盛岡駅まで電車だと往復720円、バスだと500円程掛かります。交通費の補償またはスーパーなどの産業施設を誘致してほしいです。</p> <p>第2次滝沢市総合計画の進捗の測定に直近の市議会議員選挙投票率と市長選挙投票率が43.28%と44.49%と記載がありますが、目標値として令和9年度50%、令和13年度55%と掲げていますが、2014年と2015年の投票率は50%前後です。おそらく第1次滝沢市総合計画でもこの点に関しては何か施策はしていたと思いますが、投票率が下がっています。これを鑑みると、他の項目も具体的に政策を練られているのか疑問を感じるためどのような施策を行っているのかお聞かせ願います。</p>	<p>除雪につきまして、何センチ降ったら出動をするという除雪の基準があり、時間的に少なくなる場合もあると思いますが、今年度も除雪計画を立てて各業者さんに委託をし、滝沢市道の除雪を実施してまいりますので、よろしくお願い致します。</p> <p>また、買い物する場所につきまして、以前は滝沢駅前にスーパーがありました。が、なかなか地域の皆さんの買い物の動向と品物が合わなかったり、移動販売車が販売していたこともありましたが、欲しいものがない、価格的なことなど様々な要因があり、うまくいかなかったこともあり。やはり地域に造られた場合には、多くの皆さんに利用していただきたいと思ひますし、先ほどご質問のありました県立大学周辺が今後整備される中で、買い物をできるような場所について、あわせてしっかりと計画を立てていきたいと思っております。（岡田副市長）</p> <p>投票率につきまして、今回の衆議院参議院選挙における滝沢市の投票率で一番高いのは18歳から19歳で、50%を超えます。そして、その次の19歳から20歳、それから20歳から21歳を迫るごとに投票率が下がっています。私自身が選挙に出るとき、各世代に子どもまんまかや若者の定着を選挙の争点として出していました。が、なかなか投票という行動まで移してくださる方が少なかったと感じました。また、市長選挙の候補者として岩手県立大学の学生の皆さんと話す機会がありましたが、学生の皆さんと様々な形でもっと話をしたかったのが正直なところ。まず、市民の皆さんと話をするときには、出会う場面をこれからもっと作っていかねばならないと思っております。投票行動だけではなく、今後の滝沢市の未来を作っていくときに、皆さんと一緒に様々なことを考えていかねばならないと思っておりますので、これからも頑張りたいと思っております。（武田市長）</p>	道路課 企業振興課 選挙管理委員会事務局	<p>【道路課・企業振興課】 市回答のとおり</p> <p>【選挙管理委員会事務局】 これまで、期日前投票所の市役所からビッググループ滝沢への移設、大学生と連携した啓発活動、従来の投票所数と開設時間の維持を行ってきました。今後は移動期日前投票所の導入を検討しており、継続して投票機会の確保と投票環境改善を目指してまいります。</p>	
11	地域懇談	<p>滝沢市に住んでいて、犬を飼っている人が多いと感じました。しかし、歩道が狭く、散歩をしている人と飼い犬、自動車を運転している人がどちらも危険な状態です。歩道の整備など改善してほしいです。また、第2次滝沢市総合計画が目指す姿として、やさしさに包まれた滝沢を掲げています。その中で、1人1人の個性や多様性を尊重し合うと述べられていましたが、滝沢市にこれから増えていくであろう地域に移り住む外国人と私たち滝沢市民が個性や多様性をお互いに尊重し合えるためには、どのような活動や意識が必要だと感じているのかお聞きしたいです。</p>	<p>現在、菓子野沢線という東部地域から県内に向かう道路を段階的に整備しております。国の補助金等を活用して、主要な道路など優先順位をつけながらになります。が、段階的に整備をしていきたいと思っております。</p> <p>また、外国人の皆さんとの交流につきまして、先ほど国際交流協会の団体さんからもお話ありましたが、外国人の皆さんと一緒に活動されている方々もいらっしゃいますので、皆さんの活動を例えば市のホームページとリンクして、どのような活動がされているか紹介させていただきながら、交流する場面を作っていければと思っております。（岡田副市長）</p>	道路課 たきざわ魅力発信室	市回答のとおり	

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
12	総計	<p>総合計画の市域全体計画表の中に、防災の計画が見当たりませんが、具体的な政策の計画推進は行われていると捉えてよろしいでしょうか。具体的な防災について、岩手山噴火警戒レベルが2に上がり、今すぐ噴火するわけではないと思いますが、将来的には我々が行動しなければならないことが出てくるのではないかと思います。</p> <p>あわせて近年、異常気象による豪雨が多発しており、大変心配です。災害発生に備えて、防災関連備品等の備蓄が必要になってくると思います。自治会としても発電機や毛布、ポリタンクなど準備はしていますが間に合いません。例えば、地域別計画の11地域ごとに倉庫等を設置して、防災備品等の備蓄を推進していくことはどうでしょうか。費用が掛かることではありますが、必要なことでもありますので、もし防災についてのお考え、計画があればお聞きしたいです。</p>	<p>確かに防災という直接的な言葉は今日の説明にはありませんでしたが、パンフレット6・7ページ市民環境部門の施策2「安全で安心できるまちづくり」という分野に防災や交通などの部門があり、その部門の中で防災について取り組んでおります。岩手山噴火の話もありましたけれども、おっしゃった通り今すぐに噴火ということではないというふうに捉えております。まずは情報収集しながら変化があった場合には、地域の皆さんにお伝えしていきたいと考えております。</p> <p>また、備品備蓄につきまして、各地域に自主防災組織がありますので、そこでどのぐらいの備品を備えるのか、またビッグルーフの隣に防災倉庫を建てましたので、そこで市が備品備蓄しているものもありますので、住み分けをしながら考えて進めていきたいと思っております。地域防災リーダーの育成なども防災防犯課で取り組んでおりますので、地域の自主防災組織の皆さんとお話し合いしながら、地域でどのような備品備蓄が必要なのか、コミュニティ助成などの助成事業も使いながら備える方法もありますので、担当の方といろいろお話をさせていただければと思います。（岡田副市長）</p>	防災防犯課	市回答のとおり	

⑦篠木地域づくり懇談会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	地域懇談	篠木小学校の通学路として利用される道路にある踏切（待場踏切）は、日に54本くらい電車、新幹線が通ります。道路がとても狭く、子どもの登下校時間帯には車がすれ違えないほどです。この道路にはあるとき白線が設置され、今年には紅白のポールが24～25本ほど新たに立てられました。ですが、私の要望としては、駐車場から踏切までの区間に、3メートルくらいの歩道を確保してほしいと思います。次に、踏切から三郷までの区間も同様に歩道を確保してほしいと思います。当然お金もかかるでしょうし、何年かかるかわかりませんが、通学路の安全確保について検討してほしいと思います。踏切付近については、JRとの交渉では、市で予算を確保するよう要望されるとの話を聞いたことがあります。時間をかけながらも、JRと交渉を続けてほしいと思います。	篠木小学校の通学路については、私もPTA会長をやっていた頃に市と様々なやり取りをしながら、少しずつ解消してきたと思っています。道路幅員の改修については、広げてしまうことで逆にスピードを出す車が増えるのではないかという意見もありました。本日いただいた意見につきましては、しっかりと道路課につなぎ、検討して、自治会長さんを通じてお答えしたいと思います。	道路課	市回答のとおり (交通安全施設等改善要望有り)	
2	地域懇談	岩手山の噴火警戒レベルが2になりましたが、この地域の避難所は篠木小学校だったかと思います。大釜駅寄りに住んでいる住民は、噴火している山に向かって非難するというのはおかしいのではないかと思います。提案として、前潟イオンと協定を結んではいかがでしょうか。前潟イオンには地下もあるし、広い駐車場もあります。食料もたくさんあります。協定であれば、市からお金を出す必要もないかと思えます。担当の部署には、どうか前潟イオンと交渉されるようお願いしたいと思います。	現在様々なスーパーと災害時の連携協定を締結しています。本日も、クロネコヤマトさんと新しい形を目指した連携協定を締結したところです。支援物資の確保や避難所への運搬など、様々な状況に対応できるよう準備をしていきたいと思っています。いただきました意見につきましては、相手もあることですのでなんともしませんが、ご意見として持ち帰りたいと思います。	防災防犯課	岩手山火山避難計画において、篠木地域は、非難の対象地域となっております。また、前潟イオンに関しましては、融雪型火山泥流の影響を受けることが想定されておりますことから、避難場所としての協定等の締結は考えていないところであります。	
3	地域懇談	市の広報紙はとても充実していると思います。ところが、岩手日報の東北地区ページを見ると、あまり滝沢市の記事を見かけません。この原因として、滝沢市には本社の記者が取材に来るかと思います。新聞に多く載っている二戸市や葛巻町は、二戸支局や岩手支局から記者が取材に行っていると思います。ですので、八幡平支局や岩手支局に取材を依頼してはどうでしょうか。市を挙げて活発に情報発信されることを期待しています。	私が最近感じているのは、盛岡タイムスが無くなって大変だなということです。先日の市勢振興功労者表彰式でも、これまでは事前に取材に来ていただいていたと思いますが、今年は事前取材がありませんでした。各社さんから「記者が足りない」というお話をよく聞きます。我々も様々な情報は報道機関に投げ込みをしています。取材に来るかどうかは各報道機関の判断になりますので、基本的には待ちの立場となります。ですが、たきざわ魅力発信室を中心に、報道機関のみに頼らずとも、SNS等で積極的に情報発信を行っていきけるようにしていきたいと思っています。	たきざわ魅力発信室	市回答のとおり	
4	地域懇談	民生委員をやっていますが、その立場から、滝沢市に福祉協力員の制度を整備してほしいと思います。福祉協力員とは、見守りが必要な世帯について、民生委員と同じように見守り、必要に応じて支援を行うような人です。実際にこの制度を導入している自治体に行って話を聞きました。山形市では、福祉協力員を50世帯に1人の割合で設置しているとのことでした。民生委員に加えて、手厚く見守り活動が実施できているとの話を伺ってきました。滝沢市がこの制度を導入することで、地域福祉の観点からは進んだ自治体になると思います。また、民生委員の見守り活動において、情報というのはとても重要です。見守りが必要な世帯を把握することが何よりも重要ですが、個人情報保護の観点から、行政からすべての情報を提供いただくことができません。よって民生委員が情報収集を行います。必ずモレがでます。同じ地域の顔見知りからは比較的情報が得やすいですが、住宅密集地では、通りが1本違うだけでまるで知らない人になります。福祉協力員の制度を活用することによって、顔見知りが増え、情報が集めやすくなると思います。高齢化が進む日本において、今まで以上に見守り活動が重要になってくると思いますので、制度の導入について検討いただきたいと思います。また、情報の開示につきましても、民生委員が活動しやすいように配慮いただければと思います。	福祉協力員の制度については担当から話を伺っています。民生委員さんの活動については、範囲も広がっていますし、制度も複雑になってきて非常に大変な時代になってきたという印象があります。人数が増えると負担の割合が減るといえるのはその通りであり、見習うべき点かと思っておりますので、どのような形の制度を作ることができるのか、引き続き検討を進めていきたいと思っています。情報の開示につきましては、お話いただきましたことも重々承知しておりますが、どうしても法令等で開示できないものもありますので、しっかりと見極めながら運用していきたいと思っています。	地域福祉課	市回答のとおり	
5	地域懇談	地域のお祭りで、地域の子どもたちと一緒に、御神輿を担いでいます。親子が集まるので、150人くらいが集います。なんとか地域で活動を続けていきたいと思っています。篠木神楽についても、市の協力を得ながら継続できるようによろしくお願いします。神社の関係です。鳥居はありますが、そこまで行く道路がありません。今まで畑だったところに建物が建って、神社の中を通らなければならないというところもあります。なんとか道路を確保してほしいという意見です。	子どもたちのために様々な活動をしていただいている地域の皆様に感謝申し上げます。子どもたちからも地域のお祭りの感想をたくさん聞きます。こういったことが地域への愛着につながっていくと思いますし、地域の活性化にもつながると思います。お祭りの運営というのは本当に大変なことかと思いますが、「次は自分が」という担い手になる子どもたちが現れるよう、一緒に楽しんでいただければと思います。篠木神楽については、篠木小学校では4年生の総合的な学習の時間でたっぷり時間をかけて学習しています。本物の篠木神楽の演舞を見せていただいたり、絵に描いたり、もちろん演舞を教わったりもしています。一番は、どうしてこの地域にこの伝統が守られているのか、そこにある地域の人の思いを知ることで、篠木地域に誇りを持ってもらえることかと思っています。とても意義のある授業だと思っています。伝統、文化を学習しながら、携わる人の思いや温かさに触れられる篠木小学校の児童はとても幸せだと思っています。今後も応援していただきますようお願いいたします。	文化振興課 道路課	市回答のとおり	
			神社への道路のお話ですが、端的に言いますと市として道路整備は難しいのではないかという印象ですが、場所を確認させていただき、市として道路を整備する必要があるかどうかを判断し、改めて回答させていただきたいと思っています。			

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
6	地域懇談	<p>地域の水田について、おかげさまで国の補助事業で助かっております。篠木地域で一番の問題は、水路が土水路です。近年線状降水帯などで水が急激に増えることもあります。通常時は水が少ないです。水量を確保することに困っています。</p> <p>先ほど通学路の話が出ましたが、通学路には水田近くの道路を通っている子どもたちもいて、農作業の時期はとても危ないです。実際に雨が降っている日に、風に煽られて水路に落ちた子どもも実際に見ています。車も落ちています。早急に水路、歩道の整備を検討していただきたいです。</p>	<p>通学路につきましては、様々な道路を通りながら子どもたちは通学しています。家の場所によって様々ですが、事故なく、子どもたちが安全に通学できているのは、地域の皆さんの見守りがあってこそだと思っています。各学校には教育振興協議会という組織がありますが、そこからの提言で「親子で登校ウイーク」という企画を行いました。親子と一緒に通学路を歩きながら、危ない箇所を一つ一つ確認していくことで、子どもたちの安全な通学につなげるというものです。通学路の危険箇所については様々なご報告をいただいております。市長部局とも連携しながら、子どもたちの安全確保に努めていきたいと思っています。</p> <p>通学路の安全安心というのは大事です。白線を引いたり、ポールを建てたりとできる範囲から対応をしております。水路であれば土地改良区さんであったり、様々な管理者があるかと思っています。通学路の合同点検も定期的に行っておりますので、各管理者で実施できる役割を整理しながら話をしていきたいと思っています。</p>	道路課	市回答のとおり	
7	地域懇談	<p>私からはエールを送りたいと思います。重点事業の「いきいき滝沢」にある「重層的支援体制整備事業」をぜひ頑張って進めてほしいと思います。100点満点でなくて良いと思います。60点、70点でも、まずはスタートするということが一番大事だと思います。身体障害者、独居老人、貧困等、様々な課題を持つ人が、いろいろな窓口は何回も訪れなくても良いように、一つの相談で多面的な支援を受けられるような道筋を付けられたら良いなと思いました。頑張ってください。</p>	<p>エールをいただきありがとうございます。今年度この事業のフレーム作りに取り組んでおり、令和7年度4月から本格的に取り組んでいこうというところですが、おっしゃっていただきました様々な課題を持つ人に対し、これまではそれぞれの担当で対応しておりましたが、それをチームで見えていこうという取り組みです。例えば父が脳卒中で右半身不随、母が知的障害者、子どもが不登校といった家庭があった場合、これまでは各担当からそれぞれにアプローチをしておりましたが、チームとして家族全体のバックアップを図っていける体制を整えているところです。</p>	地域福祉課	市回答のとおり	
8	地域懇談	<p>市長の公約である大釜駅北側の件、進捗状況を伺いたしたいと思います。</p>	<p>大釜駅北側の日赤の件ですが、現在市の医療の在り方についてのアンケート調査を実施しています。まずは市民の皆さんから意見を聞きたいと思っています。また、日赤の事務局長さんが変わりました。これからもしっかりと足を運んでお話をしていきたいと思っています。そして、来年度医院長先生が変わるというお話も聞いています。医院長先生が変わってから、もう一度アプローチの仕方を検討してみたいかがかと医師会から提案を受けています。医師会や医療系団体のみなさんと連携を図りながら、前に進んでいきたいと思っています。大釜駅北側は医療ゾーンとして考えていきたいと思っています。日赤の動向もしっかりと把握していきたいと思っています。盛岡市役所もそうですが、完成まで10年以上かかると聞いています。それだけ前もって早めに動いていくことが重要だと考えています。</p> <p>関連して事務的な部分で、市長が申しましたとおり現在地域医療の在り方についてのアンケート調査を実施しています。西北医師会に所属している医師の皆さんにも意見を聞いているところです。日赤の移転については粘り強く対応していく必要があるのはその通りですが、高齢者世帯が増えてきた等様々な地域課題が出てきている中で、リモート診療や訪問診療等、診療のニーズも変わってきています。そのニーズも把握しながら、令和7年度中に滝沢の地域医療の在り方の方向性を出していきたいという思いで事務を進めているところです。</p>	企画政策課	市回答のとおり	
9	地域懇談	<p>地域資源保全組合の担当をやっておりますが、市内にはかなりの数の組合があると思います。その組合員が公の施設を使用する際に使用料を支払っているかと思いますが、組合は一種の公共的団体に該当しないのでしょうか。つまり使用料まで支払って借りなければいけないものなのでしょうか。私は公共的団体ではないかなと考えるのですが、そのあたりの見解を教えてください。</p>	<p>各公共施設の利用については減免団体として、申請をいただくと市の方で許可をして使用いただくことができます。団体と言いましても様々な性格をもったものがありますので、減免団体の登録に関してはそれぞれに対応させていただきたいと思っています。</p>	農林課	減免団体登録の申請について、ご相談に応じますのでご連絡いただきたいと思います。	

⑦篠木地域づくり懇談会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
10	地域懇談	滝沢市の冬は寒いです。冬に公共施設（市多目的研修センター）をお借りした際には、会場に着いて初めて暖房のスイッチを入れますが、温まるまで時間がかかります。予約をされていて、確実に来ることがわかっている場合には、管理者さんの方で10分15分前に暖房のスイッチを入れていただくことはできないかなという相談です。	施設の冷暖房については、使用いただいた際は実費分をお支払いいただいております。ご提案いただきました事前にスイッチを入れておくというのは、サービスの範囲の中でできるものかどうか、市として統一した考え方の中で対応していかねばならないものですので、ご意見として頂戴させていただきます。	生涯学習スポーツ課 財務課	【生涯学習スポーツ課】 体育施設等におきましては、指定管理者とも情報共有致します。  【財務課】 市回答のとおり	令和7年3月26日  (公財)滝沢市 体育協会・滝沢市 連絡会議にて 情報共有
11	地域懇談	「こどもまんなか」の考え方について、子どもは正直ですが、大人の都合で物事を進めていることが多いと思います。子どもはいろいろな夢を見ますが、大人は自分の都合でたとえば「スマホはだめだ」とか決めてしまっています。子どもたちの自由を伸ばしてほしいなと思います。ある地域では、学校の100メートル手前で車から子どもを降ろして、みんなで歩くのが通学だとしているそうです。地域でも思いやりを持って、大人の都合のみを子どもに押し付けないようにしていきたいと思います。	今年度から福祉分野を健康こども部と福祉部に分けました。健康こども部では教育委員会とも連携しながら、子育てに関する相談等に対応しています。滝沢市の未来についても子どもは外せないポイントです。県内で最も平均年齢の若い市としても、展開のポイントと捉えていきたいと考えています。本日説明不足でしたが、重点事業のひとつに「ICT産業集積拠点整備事業」というものがあります。岩手県立大学前にイノベーションセンターという施設があるのですが、今はもう手狭な状態になっています。なので、隣の県用地を手に入れて、新たな拠点にしていきたいと考えています。今年の2月に、県立大学の情報系学部の卒業生と交流会を行った際に、岩手山が見えるところでもう一度仕事がしたいという意見をいただきました。これまでは企業の呼び込みだけでしたが、これを第1章として、第2章ではICT関連産業と親和性がある企業を集めていき、若者定着にもつなげていきたいと考えています。滝沢市の未来を担うのは子どもたちです。その子どもたちが滝沢市に愛着を持てるよう汗をかいていきたいと思っています。私も篠木小学校の卒業生ですが、地域のみなさんに育ててもらいました。学習林に向かっていた際にクマの爪痕を見つけて引き返したという思い出があります。地域で感じたことはいくつになっても忘れないなと実感するところですので、篠木地域のみなさんと引き続き協力していきたいと思います。	学校教育指導課 子育て課	市回答のとおり	

⑧姥屋敷いきいき21推進委員会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	地域懇談	姥屋敷小中学校が2、3年後には閉じられるということで、姥屋敷小中に関連しての安全な道路確保の諸課題について、拡幅や一部拡幅も含めて考えてもらいたい。まずは、カーブミラーを相当数つけてもらわないと駄目だなと思います。見通しが効かない道路でウオーキング等利用者も危ないときがある。学校行事等で利用する親御さんが当然増えるわけで、そういった際にやはり安全な道路となって欲しいと願います。	姥屋敷地区の五差路の側溝の拡幅を確保しながら、また商工会の方から上がってくる道路につきましてはセンターラインを引きまして、順次修繕させていただいてるところです。拡幅に関しては計画にない所ですが、今後、登下校に利用されることも踏まえまして調査研究してまいりたいと思います。カーブミラーにつきましては、持ち帰って担当部署とも協議したいと思います。	道路課 防災防犯課	市回答のとおり	
2	地域懇談	関係部署の方に実際車を運転してチェックをしていただきたいです。大きな事故を起こしてからでは遅いので、あと2年などと言わず、明日からでも何とか対応してもらいたいです。				
3	地域懇談	道路沿い雑木林の枝や茅や笹など、1年間のうちに2回ぐらいは刈払いが必要と思うのですが、我々では危険で対応できないため、行政に対処してもらいたいです。茂っていると自転車などセンターラインを越えて走行し、事故につながりそうなことが経験あります。何とかできる範囲で早急をお願いしたいです。	道路に倒木があるなど緊急避難的な場合は行政が対処できる場合もあるのですが、基本的な事項を申し伝えますと、その土地の所有者が処理をしなければならぬという部分があります。その方の財産ということでなかなかうまく運ばないことがあります。危ない箇所につきましては市役所に情報をいただいて、市役所の方で土地の所有者を探して対応をお願いしておりますので、連絡を取り合いながらやっていければと思っています。	道路課	市回答のとおり	
4	地域懇談	この姥屋敷地区に関しては、第1次総合計画のときよりも第2次総合計画の方が状況が悪くなっていると思います。保育所は無くなり、小中学校も閉校となります。代わりに道路状況は良くしてほしいと願っています。武田市長には期待しています。この姥屋敷地区で整備した通称マイロードは、20年以上前の村の時代に当時の村長の話から「自分たちでやろう」とやったものです。もう道幅が狭くなっています。当初は地権者から全部土地をもらってグレーダーでやったのですが、雨水などが流れ全く狭くなっています。せめて、我々が作った当時の拡幅に戻してほしいです。今から何十億もかかる話はないと思います。	砂利が流されたり、足したりしながらやってきまして、土側溝になり、台形のような形に道幅が狭くなってきたというのはその通りです。一方で整備が進むとスピードを出して走行する車両が増えるということも危惧されていることです。現場をみて「狭い」「危ない」箇所は直していきたいと思えますし、一般的な道路と同じ幅が確保できているところはそのまま維持させてもらうことになるかと思えます。現地を確認しながら検討していきたいと思えます。	道路課	特にもカーブで狭くなっている箇所は維持修繕工事にて対応しております。	令和7年1月14日
5	地域懇談	いま、砂防ダムの工事しています。工事主は県ですか？その車両が行ったり来たりしています。砂防ダムの工事だけですか。工事が入るとわかっているならその際に一緒に工事するとか、最低でも待避所を作って工事をするべきだと思います。また、併せて下の川の改修もするという話を聞いたことがあるのですが、やるのですか。砂防ダムだけですか。	砂防ダムの工事は県の事業です。大雨などで土砂が流れないように市から要望して実施されるものの一つです。これは土砂や流木を止めるという工事で、その下流は十分排水できるということで河川を改修する予定は現在は無いです。待避所に関しては、県に伝えていきます。ダムの工事で危ない思いはしてないでしょうか。そういったことがあれば安全に対することは、しっかり伝えて行きますので教えていただければと思います。	河川公園課	市回答のとおり	
6	地域懇談	マイロードに関連して、砂利を相当数いれなければならないので、お金がかかると思います。道路の路肩が高くなっていて、これでは土砂が流れて当然です。きちんと踏み固めれば砂利は流れないですし、水の抜け道を作ってくれば、あれほど土砂は流れないと思います。今、大型車が通行するので避けるのですが、その際「パンクした」という話が地元住民から聞こえています。元々再生ガラを使用した経緯から土砂と共に釘などが流れ、パンクすることがあります。専門家と相談していただいて対処していただければと思います。	ありがとうございます。持ち帰りまして、どの方法が一番最適かを検討したいと思えます。元々作った道路の幅はしっかり確保できるように協議していきます。地域の皆さんの安心できる形を考えていきます。地元の方の努力が語り継がれるようにやっていきたいです。また水の逃がし方に関しては、U字溝が埋まっていることもあるので手法を考えていきたいと思えます。	道路課	市回答のとおり	
7	地域懇談	我々が所有者と交渉し、最低限7メートルの幅を取って、作った道路ですので、我々の思いを受け取ってほしいです。	ありがとうございます。	道路課	市回答のとおり	

⑧姥屋敷いきいき21推進委員会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
8	地域懇談	学校の建物がもったいないと思います。市が登下校の送り迎えをするのであれば、逆に姥屋敷の方に子どもたちを運べばいいのではないかと思います。	魅力ある教育をこの姥屋敷地区の皆さんが支えてくださってきたというのは、教育委員会としても「滝沢の財産」として感じてきたところです。時間をかけて話し合いを重ねてきましたが、「子どもたちに今よりも良い環境で経験を積ませたい」と英断くださり、小さい子をお持ちの方々やこれまで大切に育まれた地域の皆様が了解くださり、何とか、次の段階に進もうとしています。子どもの声がすぐ聞こえなくなることは本当に寂しいことだと思いますが、子どもたちがいなくなってしまうのではないので、普段の地域の活動の中で、長期休みの活動など一緒になって考えていきたいと思っています。  学校への送り迎えはこれからの話し合いで進めていくこととなりますが、その待機場所であるとか便数であるとか、一番、子どもたちが安心して学校に通えるような環境作りを進めて参ります。他地区の子どもたちが姥屋敷の方に来て活動するというのは、良い提案だと思います。 統合先の見通しがたったところで、お互いの場所で慣れ親しむというのは、これから2年間大切なことだと思います。お互いの地域を学んだり、学校を行き来したり、安心できることをまず始めてあげたいと思います。	教育総務課 学校教育指導課	市回答のとおり	
9	地域懇談	保護者として何回も話し合いを重ねた中で、登下校の問題つまり、道路の問題が一番大きいです。開拓道路の利用は多いですし、子どもたちは安全なルートで通わせたい。バスが出るとしても親が出て行かなくていいかという、何かしらやはりあると思います。早急に進めてもらいたいです。	保護者の皆さん色々な思いを抱えながら話していただき、真摯に受け止めたと思っています。 保護者の皆様には「熱を出したのでお迎えに」ですとか、様々な部分でご協力いただくことがあると思います。おうちの方の足の確保といったこともあわせながら考えてまいりたいと思っています。	教育総務課	市回答のとおり	
10	地域懇談	学校もなくなって子どもたちが通わなくなれば地域も寂れてしまうのではないかと不安になっています。校舎の老朽化も大きな要因だと聞きましたが、歴史ある校舎のままリフォームなど上手く活用して、校庭から見る校舎の風景が素晴らしく、役に立てないかなというものもあります。個人的には地域のためのコミュニティの場所でもあったので、林間学校のようなそういう機会を滝沢市内、盛岡市からも優先的に拠点になってやれるとすごいいと思います。	廊下にある節穴で遊んだりと木造校舎卒業のためか、校庭から見える景色の話など共感しています。この地域が持っている力を感じています。人が暮らすこと、生きることが続いているすばらしさをアピールしていきたいと思っています。共に考え、しっかりと対応してまいりたいと思います。	学校教育指導課 地域づくり推進課	市回答のとおり	
11	地域懇談	ついに閉校になるのだなと複雑な思いがありますが仕方がないとも思います。やはり、今後学校をどう利用していくのが大切だと思います。老朽化と聞きましたが、取り壊されるのか、活用していいのか、そういうことも知りたいです。 酪農が滝沢では主になっていると言われていたが、私が所属する花平ホルスタイン同志会としてもグリーンツーリズムで子どもたちに農業体験をさせたりしています。5つの視点にすべてつながってくるのではないかと思います。滝沢市は子どもが多い地域だと思うので、滝沢に残ってほしいと思います。宿泊施設や農業に関してプラスになればいいなと思います。	姥屋敷の作物は誇りですし、宝だと思っています。宿泊施設などは手法は考えなくてはならないにしても、地域の皆さんと一緒に何ができるのか経済産業分野では「欲して」います。どこまで受け入れ可能なか不安なところもあるので、協力していただきながら、できることを探していきたいと思っています。 「攻める姥屋敷」を共に作っていければと思います。企業から小岩井の周辺で体験できることが何かないか相談を受けていることもあるので、皆さんと一緒にできることも出てくると思いますので、今後ともよろしくお願いします。 宿泊に関してどういったことができるのか、事例があると思うので調べてみたいと思います。企業のホテル建設の話もあります。どうこの地域に呼び込むか、観光の部分でどう人を引き付けられるか考えていきたいと思っています。	農林課 観光物産課	市回答のとおり	
12	地域懇談	スクールバス見合いの車を公共交通のない地域で、空いた時間帯で一般の送り迎えをしている地域があると聞いたことがあるので、そういうのを併せた事業展開もあるのかなと思います。公共交通の部分が気になっています。閉校に向けての土地の利用とか相談していきたいと思っています。	姥屋敷は柳沢といっしょに実証実験をしてもらって協力いただいたところです。例えば、体の不自由な方やお年寄りがどのようにして買い物に行ったりするのかというところが今、焦点になっています。福祉のサイドからどうやってカバーしていくかなど話し合っており、来年度に向けて検討していますので、皆さんの声を寄せていただければ、計画に反映していけるとと思います。	都市政策課 教育総務課	【都市政策課】 バス運転手不足など輸送資源が限られている中、スクールバスの空き時間や混乗などは効率的かつ有効な手段であるため、今後検討してまいります。  【教育総務課】 閉校に伴う廃校舎の利用等につきましては、今後開催の統合準備委員会等で検討いたします。	

⑧姥屋敷いきいき21推進委員会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
13	地域懇談	市としての対応の仕方に関してですが、先日、印鑑証明をもらいにいった際、マイナンバーカードでは印鑑証明は取れませんでした。説明はもらいましたが、最終的にはコンビニエンスストアではマイナンバーカードで取れるとのことでした。	印鑑証明の話をもらいました。詳細については、持ち合わせておりませんが、いづれ市民の方が市役所にいらしたときにご不便を感じる対応とならないように確認しまして、仕組みにつきまして後程お伝えしたいと思います。	市民課	窓口では、印鑑登録証カードの番号を照らし合わせ、印鑑登録証明書を発行します。コンビニでは、キオスク端末にマイナンバーカードをかざし、4桁の暗証番号を入力していただくことで印鑑登録証カードの番号と照合され、印鑑登録証明書が発行されます。窓口での交付を希望される場合は、印鑑登録証カードをご持参ください。	
14	地域懇談	個人的に、ビッグルーフの玄関が表か裏かわからないほどさみしく感じます。	ビッグルーフの玄関につきましては、既に完成しているというところもありますが、運営をいかに充実させていくかというところで、中身について取り組んでいきたいと思っております。	地域づくり推進課	市回答のとおり	

⑨元村地域自治会連絡協議会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	地域懇談	前回もお願いしましたが、ふるさと交流館の交差点の矢印信号について、現在の進捗状況をお伺いします。	ふるさと交流館の交差点については、地域の方々が直接警察に要望を出していることも承知しております。矢印信号に関しても、県に情報を共有しながら、毎年国道の整備として、盛岡環状線の拡幅改良やふるさと交流館の交差点改良を県に要望しております。今年度は県がふるさと交流館付近の交差点の状況調査を実施しており、今後は交差点改良の必要性についてさらに議論を進める予定です。矢印信号の更新については、全体の信号制御や道路幅などにも関わるため、引き続き県と協議してまいります。	防災防犯課	市回答のとおり	
2	地域懇談	ふるさと交流館の交差点について、調査をしていただいたと思いますが、青山町に向かう際に、厨川方面から来る車両が増えており、信号待ちの間に信号が変わってしまうことがあります。バスやトラックが厨川方面から来ると視界が遮られ、事故の懸念があります。そのため、右折帯を含めた交差点の改良を進めていただきたいです。	右折帯を含め、交差点全体については課題と認識しており、県と共に取り組んでまいります。 先日、ふるさと交流館の交差点で大型車が停車しており、事故かと思いましたが、ふるさと交流館に電話で確認したところ、故障による停車と聞きました。故障車両の近くにポールが置かれており、追い越しが大変だったと思います。今後、このような事態が発生しないよう、交差点の改良工事を安全性の観点から見直す必要があると感じました。ふるさと交流館の交差点だけでなく、他の地域でも事故が発生しているため、県や国交省とも引き続き協議してまいります。	防災防犯課	市回答のとおり	
3	地域懇談	分れから大釜に出る道路について、車両数が多く、大型トラックの往来も多い状況です。この道路について何か対応策があるのかお伺いします。乗用車は問題ないのですが、大型トラックの多さと道路の狭さから交差時に非常に危険を感じています。	現在、国、県、市の三者で全体を見ながら検討を進めています。将来的に西バイパスが完成した際の車の流れも考慮し、この県道の交通量は1日約2万台、そのうち大型車の混入率が県内で最も高いと認識しています。今年、市でも交通量調査を実施し、国や県に環状線の改良について強く訴えています。この県道は保育園児から中学生までの延べ3,480万人が利用しており、高校生や大学生も含めて安全な交通政策を国や県と共に考えていきます。計画ができ次第、改めてご説明いたします。	道路課	市回答のとおり	
4	総計	まなぶ滝沢の中に大学未来共創事業があり、県立大学の名前が見受けられますが、滝沢市と岩手大学の連携が少ないように感じます。ぜひ岩手大学とも連携していただきたいです。予算は572万9千円と具体的に示されていますが、具体的な計画は決まっているのでしょうか。また、はたらく滝沢の農業担い手育成対策事業について、岩手大学の農学部は基礎研究が優先され、実体験が少ないように思います。双方がwin-winの関係で何かできればいいと思います。	大学の連携について、県立大学や盛岡大学、岩手大学とも連携している分野がありますが、農業分野についてはまだ連携が進んでいないため、今後は岩手大学とも連携して進めてまいります。大学未来共創事業はコロナ禍で学生アルバイトを会計年度任用として採用し、経済的支援を行ってきましたが、コロナ禍が過ぎた今、新しい視点での取組みを進めています。農業分野にもつなげていきたいと考えています。大学の知見や学生のアイデアを生かしながら、市政運営を進めていきます。	若者活躍推進室	市回答のとおり	
5	総計	防犯に関する質問ですが、「やさしさ」や「はたらく」などの施策はありますが、防犯に関するものが不足していると感じます。この地域はお年寄りが多く、最近流行している強盗などが心配です。防犯カメラが一つも設置されていないため、市として防犯カメラの設置や補助金の提供について何か考えていることはありますか。 また、魚のつかみ取りのイベントの前準備で、1週間前に準備したものが壊されていたことがありました。積雪深センサーの設置の話聞いたことがあり、それを防犯目的で利用することはできないでしょうか。	パンフレットの6～7ページ目の市民環境部門の「政策の実現手段となる施策」にある施策2「安全で安心できるまちづくり」が防犯に該当する分野です。ご質問のあった防犯カメラについては、一部公共施設の入り口に設置していますが、各地域には設置されていない状況です。現時点では補助金などは提供していませんが、様々な強盗事案など防犯上の問題もあるため、今後の課題と捉えています。積雪深センサーについても、今年1か所増設しましたが、防犯に役立てることができるかどうか、今後研究させていただきます。 防犯カメラは犯罪発生時に非常に有効であると感じています。自宅に設置したカメラが事件解決に役立つこともあります。各個人が防犯カメラを購入する際に補助金を提供することについても、しっかりと調査研究しながら今後考えていきたいと思っています。	防災防犯課	市回答のとおり	

⑨元村地域自治会連絡協議会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
6	総計	パンフレット5ページ目の「客観的」区分の投票率について、自治会長研修の中で投票率を上げるための対策を2度にわたり検討し、改善要望を出しています。今回の選挙で滝沢市の投票率が出ているのであれば教えてください。また、今回の選挙で従来と変わった取組があれば教えてください。	今回の国政選挙の投票率は52.77%で、市議会議員選挙や市長選挙の投票率より高い状況です。滝沢市の特徴として、国政選挙ではテレビで争点が報道されるため関心が高くなりますが、身近な選挙ほど市民の投票率は低いのが現状です。前回の知事・県議選の際には、ふるさと交流館で期日前投票日を設けたり、主権者教育として親子での投票所訪問や学校での選挙制度学習を行いました。今回の選挙では新たな取組は特に行っていませんが、今後も市政に関心を持っていただくため、滝沢市明るい選挙推進協議会と連携して投票率の向上に努めてまいります。	選挙管理委員会事務局	市回答のとおり	
7	総計	会長研修でご提案いただいた項目について、市長選や市議選などでの具体的な活用計画はありますか。	現時点では具体的な計画はありませんが、選挙管理委員会にご提言いただいた内容を踏まえ、効果的な取組について検討していきます。他の市町村では移動投票所など様々な試みが行われていますが、実態を踏まえた上で効果的な手法を継続的に検討していきます。	選挙管理委員会事務局	今後、直近で行われる国政選挙では移動期日前投票所の実施を予定しております。投票可能な期間などを踏まえ、市長選挙及び市議会議員選挙においても実施可能であるか検討し、投票機会の確保を図ってまいります。	
8	地域懇談	私の住んでいる地域は昔から洪水が頻発し、最近では分水路ができて少し安心して暮らせるようになりましたが、全国的に雨量が増加しており、現在の分水路だけで間に合うか心配です。並行して遊水地の工事進められていると思いますが、その進捗状況を教えてください。	平成16、17年の大雨で冠水した経験を踏まえ、その後諸葛川の改修や分水路の整備が行われましたが、想定外の大雨に対応するためにはさらなる安全対策が必要です。遊水地の進捗状況については後ほど会長を通じて回答いたします。  遊水地については県の事業であり、生き物調査の結果がまだ出ていなかったと思います。雪捨て場としての利用提案もありますが、進捗状況と併せて後ほどお知らせします。総務省に緊急浚渫工事の延長をお願いしており、安心して暮らせるよう河川の横断面の確保に取り組んでまいります。	河川公園課	市回答のとおり	
9	総計	7つの部門別計画の中に「ひとにやさしく、だれもが快適かつ安全・安心に暮らせるまち」として、河川及び公園の計画的な整備・改修がありますが、私の住んでいる地域にはいくつか小さな公園があります。子どもたちがドッジボールやサッカーをすると苦情が市役所に寄せられ、子ども会育成会が注意をしていますが、子どもたちも満足していないと思います。子どもたちが思いっきり遊べるような公園や子ども活動センターのような施設が地区にあれば、子どもたちも楽しめると思いますが、この点についての考えをお聞かせください。	公園の関係ですが、市役所付近の総合公園の遊具の更新を進めており、クアオルト健康ウォーキングなど様々なメニューも取り組んでいます。各地区の公園については、危険な遊具を撤去更新する計画を進め、段階的に子どもたちが遊べる状態にすることを目指しています。各地域の公園の在り方についても話し合いながら、今後の方向性を検討していきます。	河川公園課	市回答のとおり	
10	地域懇談	上鶴飼の沢の砂防施設工事が、50年に一度の流量を見越して進められています。その川は市道の下を通っており、頑張っても毎秒10立方メートルしか流せず、越流や浸食の危険があります。市の予算が厳しいと思うので、県に附帯工事をお願いしたり、ソフト対策として県や市からの説明を求めることが必要だと思っています。	現時点では基準に沿った整備が行われていますが、県に附帯工事を拡大してもらうことや、ソフト面での対応策について県と協議し、市民の安心・安全に繋がる対策を検討してまいります。	河川公園課	市回答のとおり	
11	地域懇談	各自治会内でできることはたくさんあると思っています。除雪については、上の山自治会が国からの助成で3台のローダーをもらって除雪を行っています。中古でもよいので各自治会に1台ずつの提供をお願いできればと思います。	除雪についてはオペレーターの確保も含め、各地域でどのように対応できるかについて道路課に伝えます。地域の状況に応じた除雪対応について、しっかりと話し合いながら検討してまいります。	道路課	市回答のとおり	
12	地域懇談	私の孫が滝沢小学校と滝沢中学校に通っていて、滝沢小学校ではさんさ、鶴飼小学校ではマーチングなど、各学校で特色ある取り組みをしています。これからもぜひ継続していただきたいと思っています。	各学校での伝統芸能や特色ある取り組みを評価いただきありがとうございます。これらの活動は地域の方々の協力があってこそ続けられるものです。地域の皆様のご協力に感謝し、今後も心豊かな子どもを育てるために取り組んでまいります。	学校教育指導課	市回答のとおり	

⑨元村地域自治会連絡協議会

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
13	地域懇談	市長にもお伝えしましたが、先日の市勢振興功労者表彰式や社会福祉大会などに議員があまり出席しておらず、恥ずかしいことだと思います。	皆さんの代表として、声を聞く場に参加することは非常に重要です。議長とも情報共有を行い、今後このようなことが改善されるように議会内で共有を図ってまいります。	議事総務課	市回答のとおり	令和6年11月27日 議会運営委員会、全員協議会にて情報共有
14	地域懇談	先日、元村地域自治会で一人暮らしの方が他県から自宅を訪ねてきました。中央交番所に行ったところ、警察が自宅まで連れてきてくれたと非常に喜んでいました。ぜひ中央交番所の方に感謝の意を伝えていただきたいです。	ありがとうございます。しっかりとお伝えいたします。	防災防犯課	市回答のとおり	
15	総計	私は担い手ほっこの会の副代表をしており、篠木の活動センターまで足を運んだ際、篠木小学校の子どもたちが、車を停めて横断歩道を渡らせた時にお辞儀をしてくれました。滝沢で初めて見た光景で嬉しく思いました。また、滝沢中央小学校のスクールガードを担当しており、各学校や地域の違いが見られると思いますが、滝沢市総合計画のパンフレットに「スクールガードを見た時にやさしさを感じる」と書かれています。具体的に、スクールガードを見た時、子どもたちはどのように感じているのかお聞きしたいです。	雨の日も風の日も暑い日も寒い日も、いつも登校の際に声をかけて励ましてくれることが子どもたちにとって非常に嬉しく、学校に行く喜びにも繋がっています。また、学校に行きにくい時に声をかけて励まし、連れて行ってもらった経験もあるようです。校長として子どもたちを出迎えた際、「今日はあの場所に立っている〇〇さんがいなかった。昨日雨が降っていたから風邪をひいたのかもしれない」と心配して話すこともあり、子どもたちは本当に感謝しており、見守ってもらっている喜びや安心感を感じているようです。横断歩道を渡り終わった後にお辞儀をすることについても、滝沢小学校や滝沢中央小学校の子どもたちが、車を停めた際に頭を下げてくれる姿を見て驚きました。これは地域の皆さんの声かけなどのおかげであり、今後も広めていきたいと思えます。	学校教育指導課	市回答のとおり	

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	地域懇談	リサーチパークに大きな物流センターが3つあります。運送するための大型車両が多く通っていて、東側に広大な2か所駐車場を作っています。盛岡へ通うために交通量が多い道路ですが、狭いです。特に、ローソンのところのカーブが非常に危険です。渋滞があると、通勤にとって支障があるのが懸念されます。これについての方策はありますか。例えば、右側に行くとするば蕎麦屋さんがありますよね。地形上、滝沢市と盛岡市、雫石町で混雑した形になっています。今まで、盛岡市、雫石町と道路の使い方について話をしたことはあるのでしょうか。	リサーチパーク担当の経済産業部から回答します、リサーチパークは市で誘致したものです、道路沿いの方は民間で建設したものです。我々も、渋滞については認識しており、対策も検討していかなければならないのも理解しております。リサーチパークは、年に何回か協議会を設けており、市からも、トラックの安全運転や冬道の対策について、お願いしています。入居企業の皆さんにもご理解いただいています。道路の抜本的なところは都市整備部とも話しており、まずは安全性というところで様々検討していかなければならないと思っています。(木下経済産業部長)  少し補足します。これまで、議会からも話があり、課題だということは認識しております。交差点改良なのか、レーンの関係なのか、蕎麦屋さんに曲がっていく方を優先するような方法なのか、検討していきたいと考えています。すぐに具体的方策はお伝え出来ませんが、引き続き検討中です。決まった段階で地元の皆さんにもお伝えします。また、盛岡市、雫石町と協議をしたことがあるかについてですが、道路は公的なものなので、例えば滝沢市民優先にするなどという協議をしたことはありません。(岡田副市長)	道路課	市回答のとおり	
2	地域懇談	空き地のまま何十年と放置されていて、雑草が背丈ほどになっている場所があります。道路沿いは地域の人たちと刈っていますが、中の方までは、他人のものということもあり手が付けられない状態です。可能であれば、固定資産税の通知等に、管理をしっかりとってくださいという文書を添付できないか、検討願います。枯れ草に火が付けば火災の危険性もあります。	環境課で条例を作り、管理者への適正管理をお願いしています。一律に固定資産税の通知の際に同封することはできませんが、土地の場所をご教示いただければ、所有者へ個別に文書を送付することや連絡は可能です。複数件あれば自治会を通してもらった方が早いです、近所の1か所なのであれば個人から市に連絡いただいても構いません。しかし、所有者が所在不明の場合もあり、最終解決までは至らない場合もあります。その場合は我々も、顧問弁護士に相談しながら、市で手を入れていいものか整理しながら対応します。(岡田副市長)	環境課 税務課	市回答のとおり	
3	地域懇談	団地の奥の方に、蓋のない側溝があり、昨年冬、高齢者がはまって動けなくなったことがありました。子どもたちや車もはまっていることがあります。除雪した後の寄せ雪があると足元が見えなく、はまってしまい危険です。市役所に連絡し、確認してもらいましたが、そのあと返事がありませんでした。予算がかかるから出来ないのか、予算がなくても何か出来ることはないでしょうか。下の方の団地は整備されているが、奥の方はなぜか進まないことが多いです。	問い合わせに対して返答していないということで、改めてお詫び申し上げます。場合によってはもう一度現地確認させていただき、どのような対応になるのかしっかりと回答させて頂きたいと思えます。(岡田副市長)	道路課	市回答のとおり	
4	地域懇談	滝沢市には火葬場がないため、近隣市町の火葬場を使用することになります。火葬場がある場所の住民と、そうでない者とで使用料に差がありますが、補助はありますか。	2万円を上限に、使用料の一部を補助しています。(岡田副市長)	市民課	市回答のとおり	
5	地域懇談	墓地について、宗教法人が作る墓地はあるのですが、宗教に関係なく入りたいと希望している方や、後継ぎがおらず、永代供養を希望する方もいます。滝沢市には公葬地しかなく、地域の人しか利用できないため、困っている人も多いです。宗教に関係がないような共同墓地や永代供養を考えておられるのか、もし考えがあればお伺いしたい。	東林寺では、お墓ではなく林の中に撒く、共同墓地もあったかと思えます。確認してみないと分からないですが、他のお寺でも宗教に関係なく入れるお墓があったと思います。また、親族が近くにいなくてお墓の管理ができない方もいらっしゃるの、我々も勉強しながら情報提供できればと思っています。(武田市長)	環境課	現在、市として新たな墓地を設置する計画はありません。なお、小岩井地区にも公葬地がありますので、環境課にご相談ください。	
6	総計	総合計画について、大変よくできているのではないかと思います。これがしっかり回っていけば、市民も、毎日幸福感を実感して生活できるのではないかと思います。やさしさに包まれた滝沢、とありますが、私がこの一年で、市との関わりの中で、優しさに触れたと実感したことがありました。高齢者の健康診査で、検診当日に診断書を紛失してしまい、市に電話で相談しました。1階の何番窓口です、と丁寧に対応してくれ、窓口に向かったところ、既に準備してくれていました。とてもいい対応でありがたかったです。もう一つはビッグライフでの事例ですが、月に一度、体組成測定があり、エラー音が鳴る度に、すぐに対応してくれて、ありがたいです。ビッグライフの職員も、市職員の対応を見て、そういった対応をしているのではないかと思います。こういった人の親切がやさしさにつながっていくのではないかと思います。総合計画を動かすのはマンパワーであると思います。予算や補助金がなくとも、市職員の対応によって、市民が感じるものはそれ以上の価値になっていくと思います。ぜひ庁舎全体に広がってほしいです。そうすれば我々も、滝沢市民でよかったと思えるようになると思います。	若い職員も増えており、間違っていないが相手の立場に立った答えになっていたのか、と思う場面でも、お叱りを受けることもあります。いま頂いたお話を全庁に浸透できるように頑張っていきたいと思えます。(岡田副市長)	企画政策課 総務課	市回答のとおり	
7	地域懇談	市の公式LINEに市民から質問などは出来るのでしょうか。	現在のLINEの仕組みでは、双方向のやり取りはできない状態です。今月、市のホームページがリニューアルされました。その中で「チャットボット」という機能があり、質問を入力していただくと、ホームページ上の内容にはなりますが、案内するような仕組みがありますので、お使いいただければと思います。(佐藤企画総務部長) 新聞にも掲載されましたが、市のホームページが、18年ぶりにリニューアルとなりました。旧ホームページでは対応していなかったスマートフォンにも対応した画面になっていますので是非ご利用ください。(岡田副市長)	たきざわ魅力発信室	リニューアルした市のホームページの関連で、公式LINEを利用し双方向のやりとりができるよう構築に取り組んでいます。現在は、ホームページのお問い合わせフォームで質問をお受けできますので、こちらもご利用ください。	

No.	内容	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
8	地域 懇談	情報提供です。小岩井公民館がなくなってから、いきいきサロン（11か所）が小岩井コミュニティセンターを利用して、管理者が時間配分に苦労しています。自治会でもアンケートをとり、小岩井公民館建築検討委員会を組織しました。コミュニティセンターについて、調理室がないこと、避難所として広さは十分か、駐車場が狭い等の意見が出ました。来年4月の総会で提案しますので、市とも検討委員会で話し合ったことを協議したいと考えています。	なし	地域づくり推進課	なし	
9	地域 懇談	市のスマホ教室で、ホームページのチャットボットの使用方法も説明していただければと思います。都市政策課のおかげで新しくなった小岩井駅を使用して、地域でもスマホ教室を開催する予定で、自分たちでも頑張っていこうとは思っていますが、よろしくお願いします。	出前講座のSNS使い方教室で、チャットボットの機能紹介も併せて進めてまいりたいと思います。活用よろしくお願いします。（佐藤企画総務部長）	たきざわ魅力発信室	市回答のとおり	